

# ごみに関するアンケート調査 報告書

平成 22 年 8 月  
交野市環境部循環型社会推進室  
環境事業所

# 目 次

## 1. 調査概要

1) 調査の目的	3
2) 調査項目	3
3) 調査方法	3
4) アンケートの回収率	3

## 2. 集計結果

1) 回答者の基礎データ	4
2) ごみの収集業務等について	7
3) ごみの啓発・パトロールについて	14
4) ごみの減量・リサイクルに対する取組みについて	19
5) ごみの有料化について	30

## 3. 最後に

34

## 4. 調査票

35

平成22年8月

# 「交野市のごみに関する取り組み等」 アンケート調査

交野市環境部循環型社会推進室環境事業所

## 1. 調査概要

### 1) 調査の目的

交野市のごみ行政に対する市民ニーズを把握し、現在の業務等の見直しや市民サービス向上のための取り組みに反映させることを目的とした調査です。

### 2) 調査項目

(1) 回答者の基礎データ（あなた自身についてお伺いします）

性別、年齢、同居家族人数、お住まいの地域、市内居住年数

(2) 質問項目

①ごみの収集業務等について

②ごみの啓発・パトロールについて

③ごみの減量・リサイクルに対する取り組み等について

④ごみの有料化について

### 3) 調査方法

(1) 調査対象地域 交野市内

(2) 調査対象者 交野市内在住の20歳以上の男女2,000名

(3) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出

(4) 調査方法 調査票の郵送によるアンケート方式

(5) 調査期間 平成21年8月31日から9月25日

※平成21年10月30日までの返送有効

### 4) アンケートの回収率

(1) 発送数 2,000通

(2) 返送数 1,182通

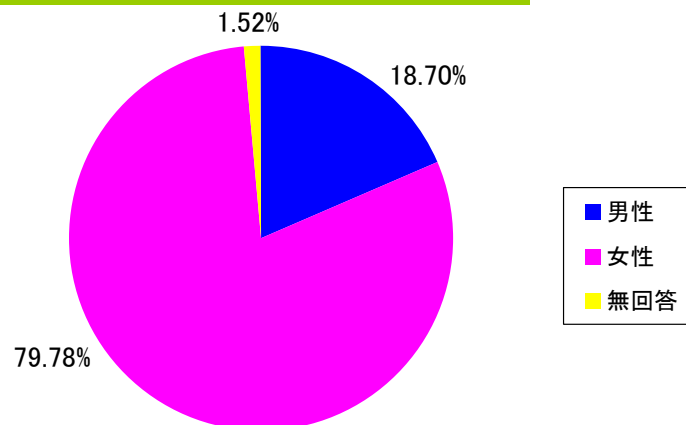
(3) 回答率 59.1%

※このアンケートは、複数回答可能な設問については、有効回答世帯の合計を基本にしておりますので100%になりません。

## 1) 回答者の基礎データ（あなた自身についてお伺いします）

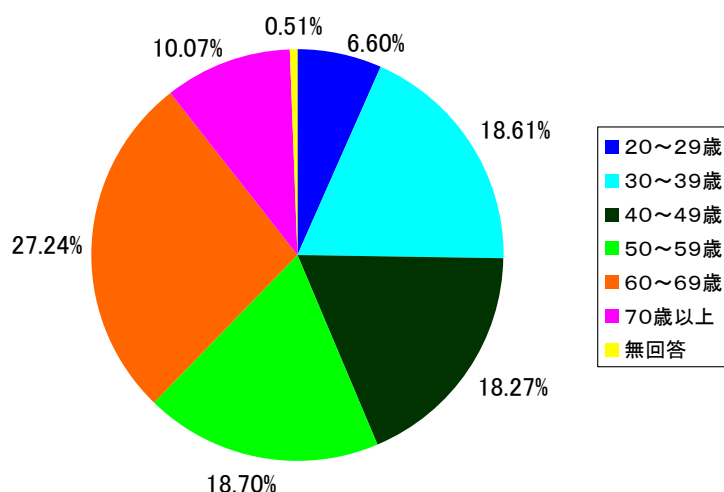
### 1. あなたの性別についてお聞かせください。

性別	回答数	回答比率
男性	221	18.70%
女性	943	79.78%
無回答	18	1.52%
総計	1,182	100%



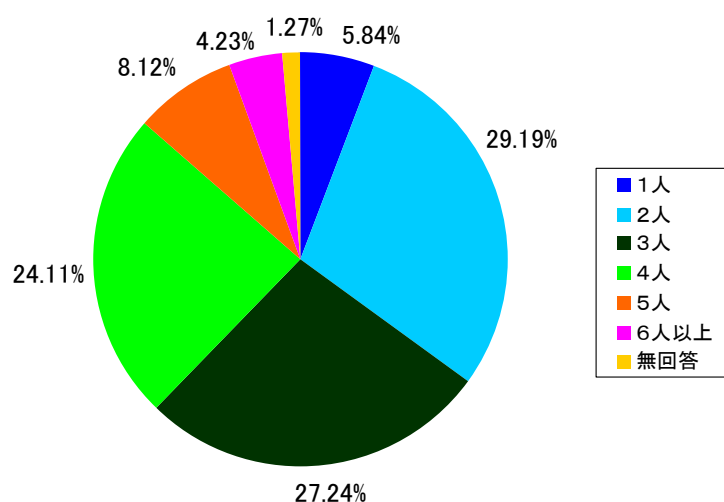
### 2. あなたの年齢を教えてください。

年齢構成	回答数	回答比率
20～29歳	78	6.60%
30～39歳	220	18.61%
40～49歳	216	18.27%
50～59歳	221	18.70%
60～69歳	322	27.24%
70歳以上	119	10.07%
無回答	6	0.51%
総計	1,182	100%



### 3. 同居しているご家族の人数をあなたも含めて教えてください。

家族人数	回答数	回答比率
1人	69	5.84%
2人	345	29.19%
3人	322	27.24%
4人	285	24.11%
5人	96	8.12%
6人以上	50	4.23%
無回答	15	1.27%
総計	1,182	100%



4. 現在、お住まいの地域を教えてください。

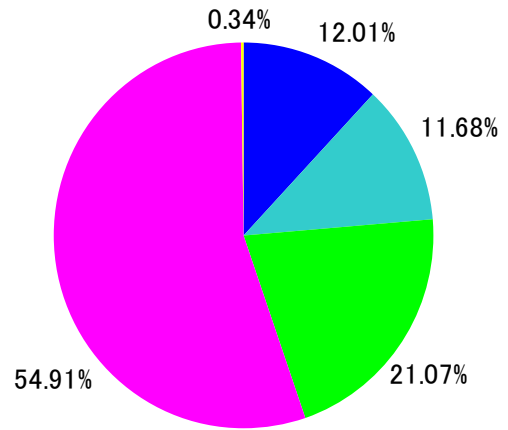
地 域	配布枚数	回収数	回収率	回収割合
幾野	110	58	52.7%	4.91%
郡津	148	79	53.4%	6.68%
向井田	41	22	53.7%	6.86%
私市	133	84	63.2%	7.11%
私市山手	44	26	59.1%	2.20%
私部	184	100	54.3%	8.46%
私部西	79	42	53.2%	3.55%
私部南	24	16	66.7%	1.35%
寺	24	17	70.8%	1.44%
松塚	46	32	69.6%	2.71%
森南(大字森を含む)	31	23	58.1%	1.52%
森北	22	10	45.5%	0.85%
神宮寺	29	13	44.8%	1.10%
星田	250	147	58.8%	12.35%
星田山手	50	32	64.0%	2.71%
星田西	69	46	66.7%	3.89%
星田北	36	19	52.8%	1.61%
青山	19	11	57.9%	0.93%
倉治	170	105	61.8%	8.88%
天野が原	100	55	55.0%	4.65%
東倉治	47	34	72.3%	2.88%
藤が尾	120	74	61.7%	6.26%
南星台	46	32	69.6%	2.71%
梅が枝	54	26	48.1%	2.20%
妙見坂	85	56	65.9%	4.74%
妙見東	39	23	59.0%	1.95%
総 計	2,000	1,182	59.1%	

※上記の表は、地域別のアンケート配布枚数、回収数、回収率（回収数÷配布枚数）  
回収割合（回収数÷回収数合計 1,182 人）を表したものである。

5. 交野市での居住年数を教えてください。

居住年数	回答数	回答比率
5年未満	142	12.01%
5年以上 10年未満	138	11.68%
10年以上 20年未満	249	21.07%
20年以上	649	54.91%
無回答	4	0.34%
総計	1,182	100 %

■ 5年未満 ■ 5年以上10年未満 ■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上 ■ 無回答



2) ごみの収集業務等についてお伺いします。

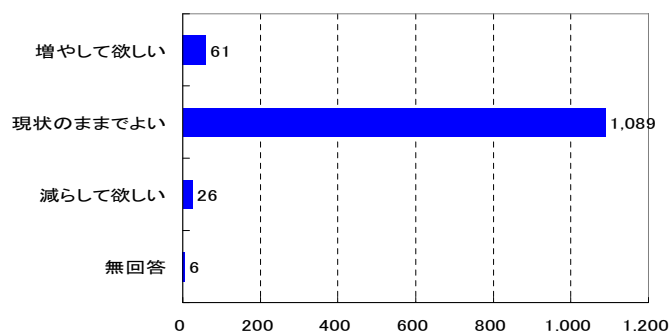
問1 あなたは現在の収集回数についてどのように思いますか？

問2 あなたの排出場所の収集時間をお聞かせください。また現在の収集時間についてどのように思いますか？

(1) 普通ごみ

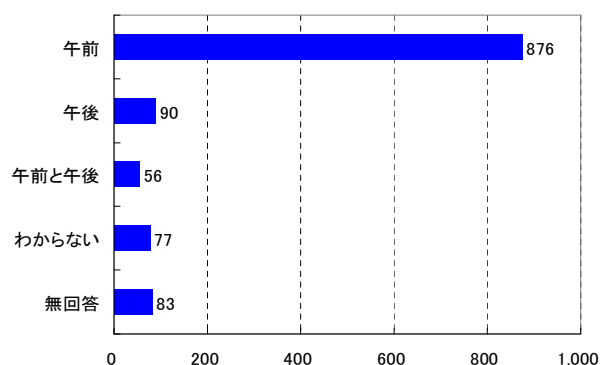
①収集回数

収集回数について	回答数	回答比率
増やして欲しい	61	5.16%
現状のままでよい	1,089	92.13%
減らして欲しい	26	2.20%
無回答	6	0.51%
総計	1,182	100%



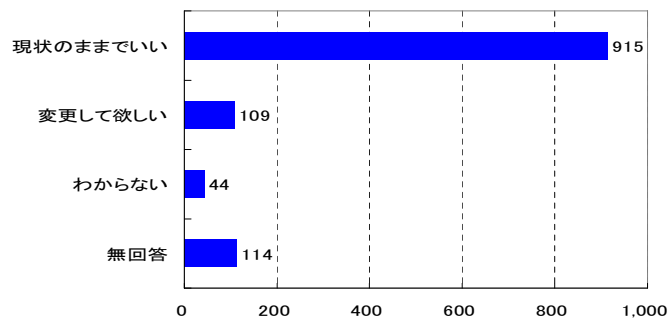
②収集時間

収集時間	回答数	回答比率
午前	876	74.11%
午後	90	7.61%
午前と午後	56	4.74%
わからない	77	6.51%
無回答	83	7.02%
総計	1,182	100%



③収集時間について

収集時間について	回答数	回答比率
現状のままでいい	915	77.41%
変更して欲しい	109	9.22%
わからない	44	3.72%
無回答	114	9.64%
総計	1,182	100%

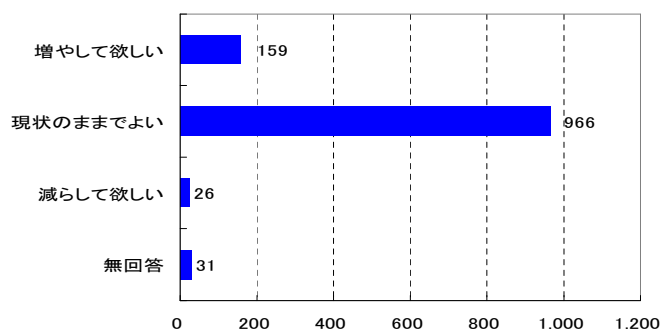


収集回数は現状の週2回収集で対応できていることがわかる。  
 収集時間は、収集の都合上圧倒的に午前中が多いが、その時間に関して8割近い方が「現状のままでいい」という回答である。

## (2) 古紙類

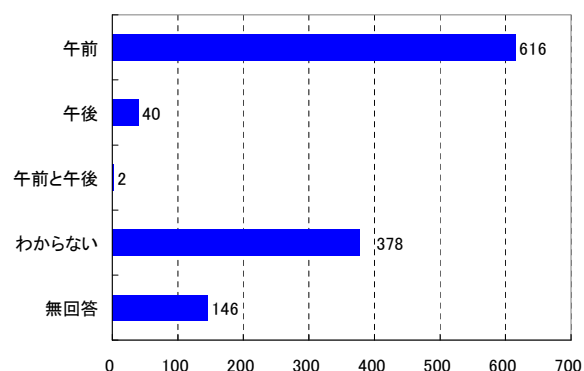
### ①収集回数

収集回数について	回答数	回答比率
増やして欲しい	159	13.45%
現状のままでよい	966	81.73%
減らして欲しい	26	2.20%
無回答	31	2.62%
総計	1,182	100%



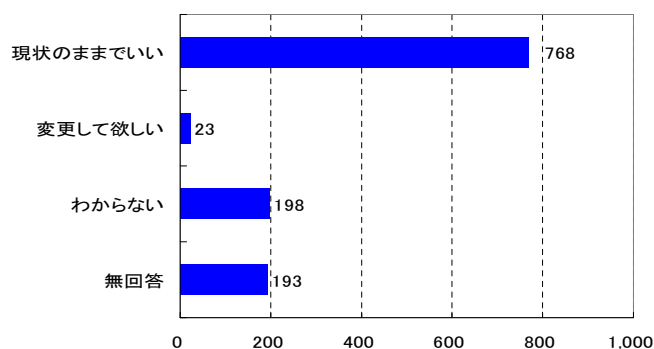
### ②収集時間

収集時間	回答数	回答比率
午前	616	52.12%
午後	40	3.38%
午前と午後	2	0.17%
わからない	378	31.98%
無回答	146	12.35%
総計	1,182	100%



### ③収集時間について

収集時間について	回答数	回答比率
現状のままでいい	768	64.97%
変更して欲しい	23	1.95%
わからない	198	16.75%
無回答	193	16.33%
総計	1,182	100%



平成20年2月開始の廃プラの分別収集に伴い、説明会を実施した際、併せて古紙の分別方法の説明と啓発を行った。結果、古紙の排出量が増加したため、約14%の回答で収集回数増の希望があったと考える。

普通ごみの収集時と違い、収集時のオルゴール（あかとんぼ）を流していないため収集に気付かないという人が、「わからない」約31%という回答に繋がったと考えられる。

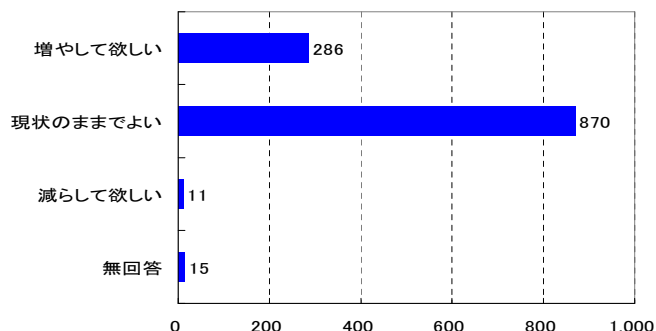
古紙収集は、早朝の抜取り被害による対策から、午前中に収集を行なうようにしている。



### (3) 缶・ビン

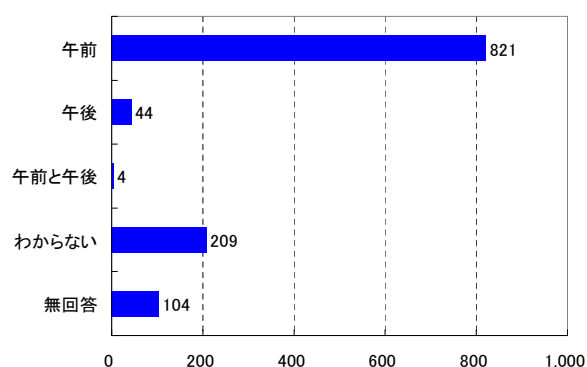
#### ①収集回数

収集回数について	回答数	回答比率
増やして欲しい	286	24.20%
現状のままでよい	870	73.60%
減らして欲しい	11	0.93%
無回答	15	1.27%
総計	1,182	100%



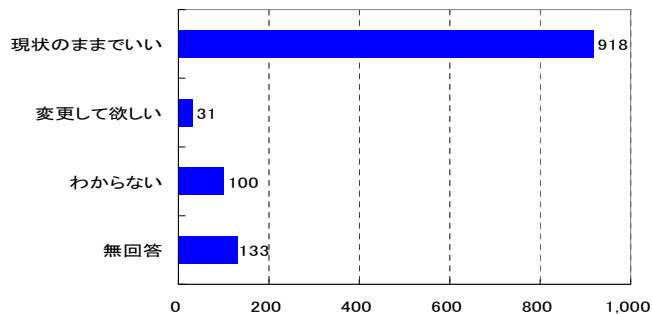
#### ②収集時間

収集時間	回答数	回答比率
午前	821	69.46%
午後	44	3.72%
午前と午後	4	0.34%
わからない	209	17.68%
無回答	104	8.80%
総計	1,182	100%



#### ③収集時間について

収集時間について	回答数	回答比率
現状のままでいい	918	77.66%
変更して欲しい	31	2.62%
わからない	100	8.46%
無回答	133	11.25%
総計	1,182	100%



詰め替えタイプの物の普及や容器のペットボトル化等により、各家庭から排出される缶・ビンの量が減少している事実もあり、月に1度の収集回数でよいという回答が約73%あったと考えられる。

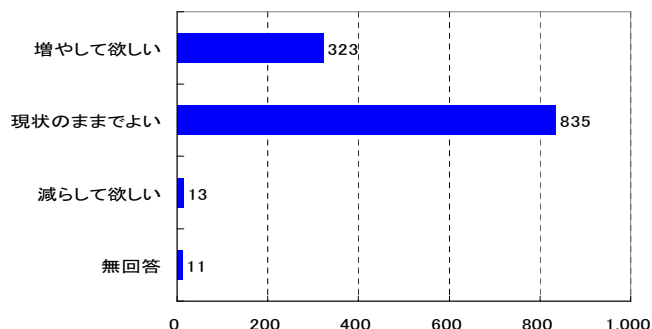
缶・ビンについても、古紙類と同様に抜き取り対策の一環として午前中に収集するようにしている。

抜き取り被害も、一時期は大変多く、年間被害額は売却額で500万円／年程度であったが、現在はパトロールの実施などにより減少している。

#### (4) 廃プラ

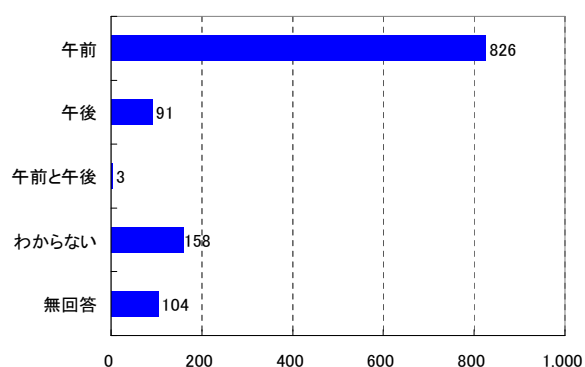
##### ①収集回数

収集回数について	回答数	回答比率
増やして欲しい	323	27.33%
現状のままでよい	835	70.64%
減らして欲しい	13	1.10%
無回答	11	0.93%
総計	1,182	100%



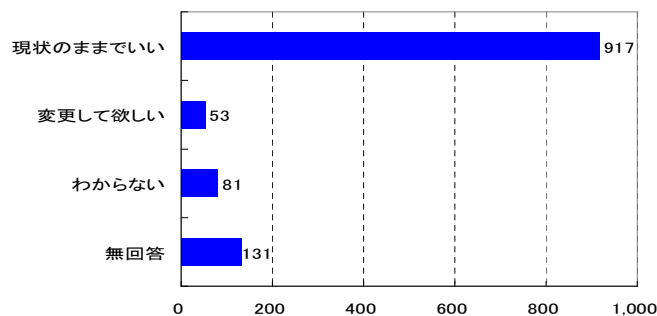
##### ②収集時間

収集時間	回答数	回答比率
午前	826	69.88%
午後	91	7.70%
午前と午後	3	0.25%
わからない	158	13.37%
無回答	104	8.80%
総計	1,182	100%



##### ③収集時間について

収集時間について	回答数	回答比率
現状のままでいい	917	77.58%
変更して欲しい	53	4.48%
わからない	81	6.85%
無回答	131	11.08%
総計	1,182	100%



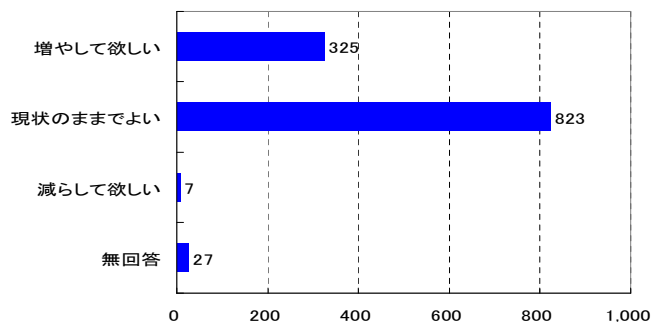
廃プラ分別収集開始以来、市民の分別意識が高まりごみ質は向上している。意識向上に伴い排出量が増えているという意見もあり約27%の方が収集回数を「増やして欲しい」と言う回答があった。

収集時間については、現在普通ごみ同様に、午前中に収集している地域が多い。今後も「現状のままでいい」という回答が8割近くあり、午前中に収集を希望されていることがわかる。

(5) 粗大ごみ

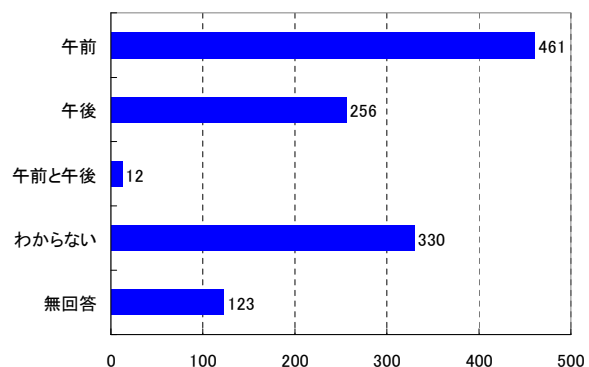
①収集回数

収集回数について	回答数	回答率
増やして欲しい	325	27.50%
現状のままでよい	823	69.63%
減らして欲しい	7	0.59%
無回答	27	2.28%
総計	1,182	100%



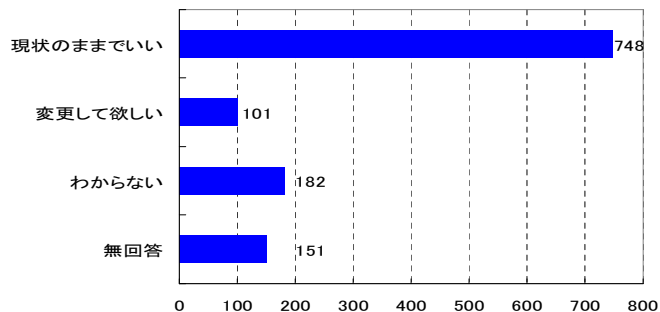
②収集時間

収集時間	回答数	回答率
午前	461	39.00%
午後	256	21.66%
午前と午後	12	1.02%
わからない	330	27.92%
無回答	123	10.41%
総計	1,182	100%



③収集時間について

収集時間について	回答数	回答率
現状のままでいい	748	63.28%
変更して欲しい	101	8.54%
わからない	182	15.40%
無回答	151	12.77%
総計	1,182	100%



不燃粗大・可燃粗大それぞれ月に1回の収集に対して、回数を「増やして欲しい」という希望が約28%あるが、ごみの減量化のための発生抑制を啓発する必要があり、回数の検討は、今後の課題である。

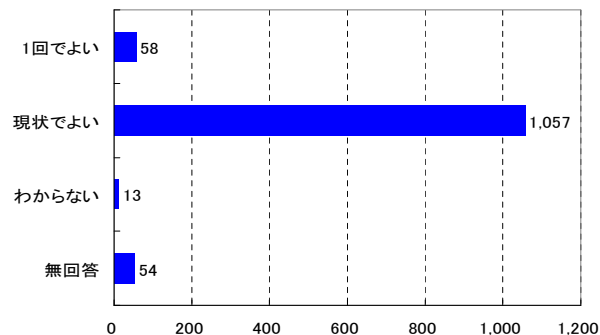
収集時間は、資源ごみ（古紙類、缶・ビン）と同じ水曜日の収集になるため、資源ごみの収集が終わり次第、対応している。

そのため午前中に収集できる地域と午後から収集する地域に分かれているのが現状である。

問3 普通ごみ・廃プラを分別していますが、収集回数についてどのように  
 思いますか？

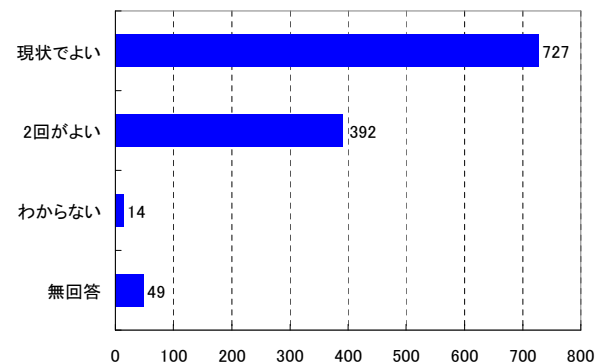
(1) 普通ごみ

収集回数について	回答数	回答率
1回でよい	58	4.91%
現状でよい	1,057	89.42%
わからない	13	1.10%
無回答	54	4.57%
総計	1,182	100%



(2) 廃プラ

収集回数について	回答数	回答率
現状でよい	727	61.51%
2回がよい	392	33.16%
わからない	14	1.18%
無回答	49	4.15%
総計	1,182	100%



普通ごみの排出量は容積面において、廃プラ分別収集以降大幅に減少しており、分別以前と比較すれば4割程度となっている。

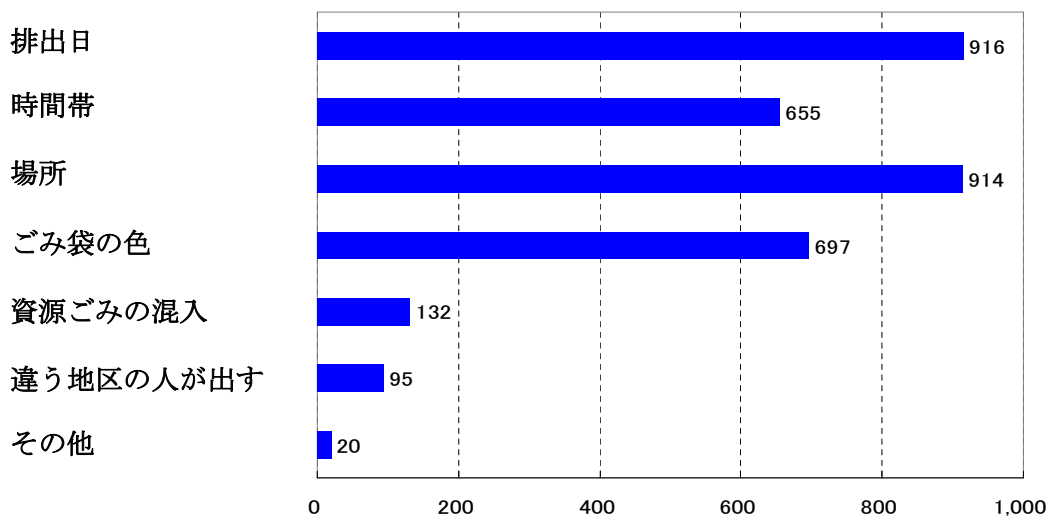
しかし、収集回数のアンケートは、「現状でよい」が90%近くを占めており、週2回の収集を希望されている。

一方、廃プラの収集回数は「現状の週1回でよい」が60%を超えているものの、「2回がよい」が33%希望されていることから、今後の検討課題である。

問4 ごみ出しルールで守られていると思うものはどれですか？

(複数回答可)

項目	回答数	回答比率	順位
排出日	916	77,50%	1
時間帯	655	55,41%	4
場所	914	77,33%	2
ごみ袋の色	697	58,97%	3
資源ごみの混入	132	11,17%	5
違う地区の人が出す	95	8,04%	6
その他	20	1,69%	7
回答世帯数	1,182		



守られていることの順位として「排出日」「場所」に引き続いて「袋の色」が3位となった。これは、ごみ袋の透明化以来、現場収集員の啓発シールの貼り付けなどによる地道な作業が成果として繋がっていることが分かる。

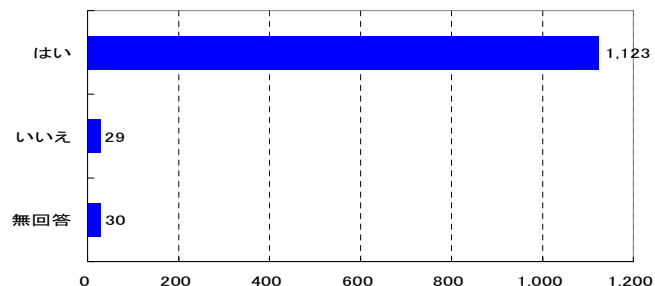
実際に焼却場で塵芥車からごみを放出する際、色袋は混入していない。「資源ごみの混入」は分別の難しい物が普通ごみに混入しているケースである。分別啓発に力を入れて更なる分別意識の向上に努めたい。

「違う地域の人が出す」については、ステーションの清掃当番になっている人からの苦情が稀にある。

3) ごみの啓発・パトロールについてお伺いします。

問5 あなたのお宅に『交野市のごみ出しマニュアル』はありますか？

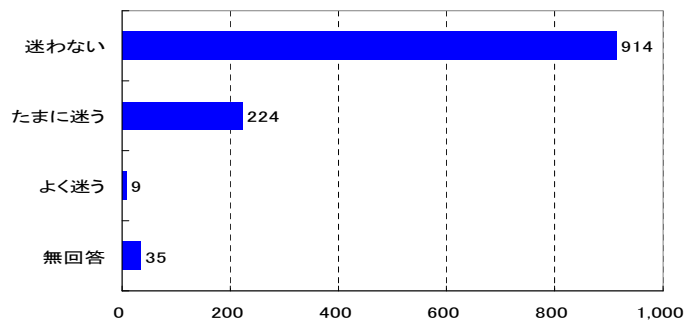
項目	回答数	回答率
はい	1,123	95.01%
いいえ	29	2.45%
無回答	30	2.54%
総計	1,182	100%



問6 ごみの分別（出し方）について迷うことがありますか？

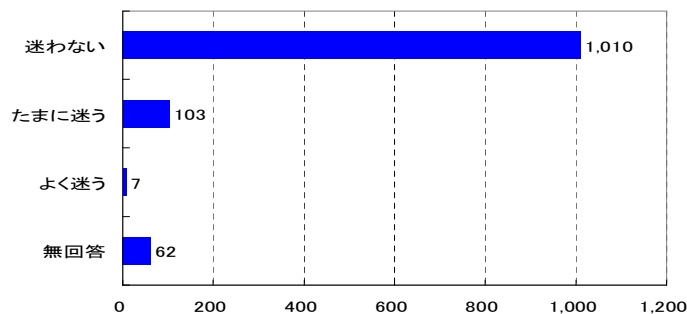
(1) 普通ごみ

項目	回答数	回答率
迷わない	914	77.33%
たまたに迷う	224	18.95%
よく迷う	9	0.76%
無回答	35	2.96%
総計	1,182	100%



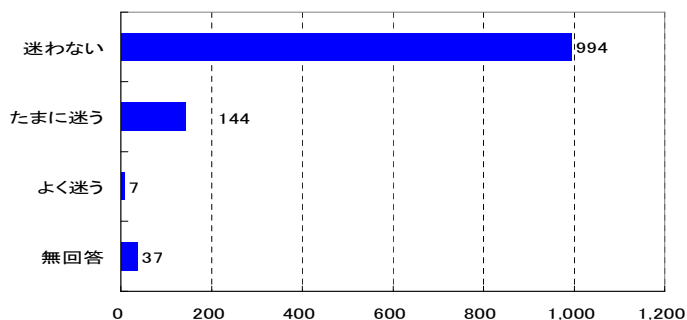
(2) 古紙類

項目	回答数	回答率
迷わない	1,010	85.45%
たまたに迷う	103	8.71%
よく迷う	7	0.59%
無回答	62	5.25%
総計	1,182	100%



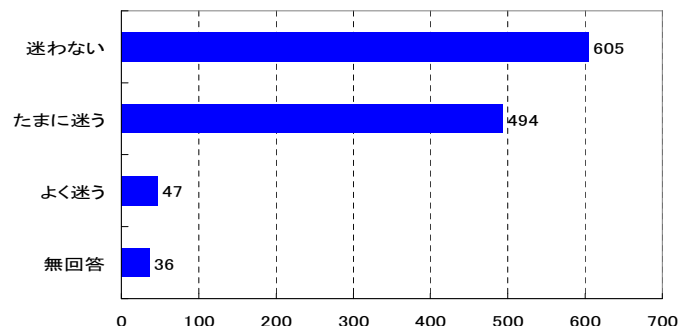
(3) 缶・ビン

項目	回答数	回答率
迷わない	994	84.09%
たまたに迷う	144	12.18%
よく迷う	7	0.59%
無回答	37	3.13%
総計	1,182	100%



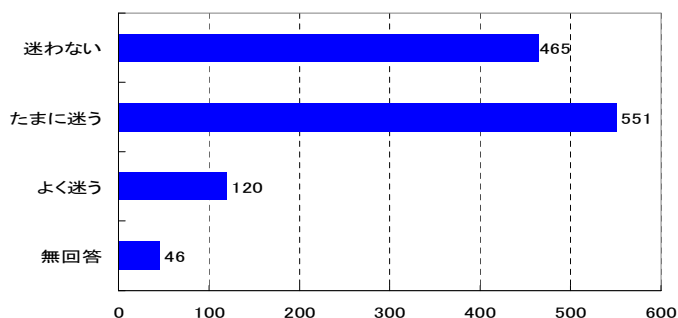
(4) 廃プラ

項目	回答数	回答率
迷わない	605	51.18%
たまたま迷う	494	41.79%
よく迷う	47	3.98%
無回答	36	3.05%
総計	1,182	100%



(5) 粗大ごみ

項目	回答数	回答率
迷わない	465	39.34%
たまたま迷う	551	46.62%
よく迷う	120	10.15%
無回答	46	3.89%
総計	1,182	100%



『交野市のごみ出しマニュアル』は、平成19年12月に全戸配布しているため、回答者の殆どが持っていると同答されている。

ごみの出し方について、「迷うことがありますか？」の問いに対し、普通ごみ、古紙類、缶・ビンは、出し方が周知されている。

しかし、廃プラと粗大ごみについては、「たまたま迷う」が4割以上もある。

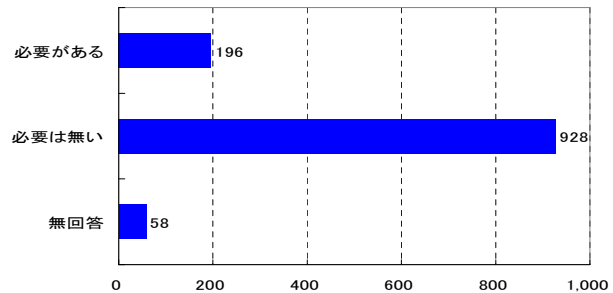
廃プラについては、汚れの程度による排出方法の異なりや、材質がプラスチックであっても『プラスチック製容器包装』と『プラスチック製商品』との違いで排出方法（廃プラか可燃粗大）が変わるため「たまたま迷う」が多いと考えられる。

粗大ごみも同様に、プラスチック製品の排出方法で迷いが生じていると考えられる。また、金属部品が付いてあるタンスやおもちゃ類等を可燃・不燃のどちらで排出するのかで迷うため「たまたま迷う」が多い。

今後もごみの分別（出し方）について市民に分かりやすくするために検討を加えていく。

問7 ごみの分別についての説明会を行う必要があると思いますか？

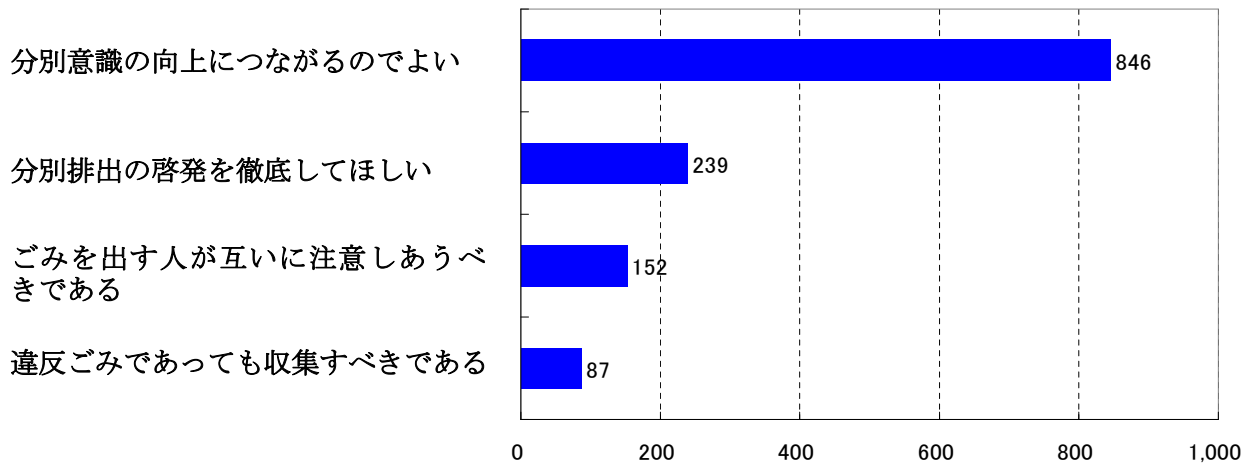
項目	回答数	回答率
必要がある	196	16.58%
必要は無い	928	78.51%
無回答	58	4.91%
総計	1,182	100%



問8 現在、違反ごみについては、適正な分別排出の為に啓発の意味をこめて違反シールを貼り、置き置きとする対応を行っていますがどのように思いますか？

※一部、複数回答あり。

項目	回答数	回答比率	順位
分別意識の向上につながるのよい	846	71.57%	1
分別排出の啓発を徹底してほしい	239	20.22%	2
ごみを出す人が互いに注意しあうべきである	152	12.86%	3
違反ごみであっても収集すべきである	87	7.36%	4
回答世帯数	1,182		



違反ごみ対応は、分別意識の向上やごみの減量化にとって必要なことである。回答の約71%が「分別意識の向上につながるのよい」と回答されており、対応に対して一定の理解を得ている。

しかし、回答の中で約20%が「分別排出の啓発を徹底して欲しい」と回答されており、ごみ当番の方などの日々の苦勞が苦情の電話となっている現状も踏まえ、啓発に努める必要がある。



問9 不法投棄を防止するためパトロールを行っていますが、交野の山々や市内には、数多くのごみが不法投棄されています。不法投棄の防止対策として、どのような方法が効果的だと思いますか？

(該当2つまで)

項目	回答数	回答率	順位
職員による巡回、パトロールの強化	590	49.91%	1
関係機関(国、府)との連携	157	13.28%	6
郵便局、タクシー業界等との連携と通報体制	187	15.82%	4
ポスター、看板などの啓発	180	15.23%	5
自治会、住民との連携による監視、通報体制	388	32.83%	3
監視カメラなどを設置し監視の強化	393	33.25%	2
その他	71	6.01%	7
無回答	398	33.67%	
回答世帯数	1,182		

職員による巡回、パトロールの強化

関係機関(国、府)との連携

郵便局、タクシー業界等との連携と通報体制

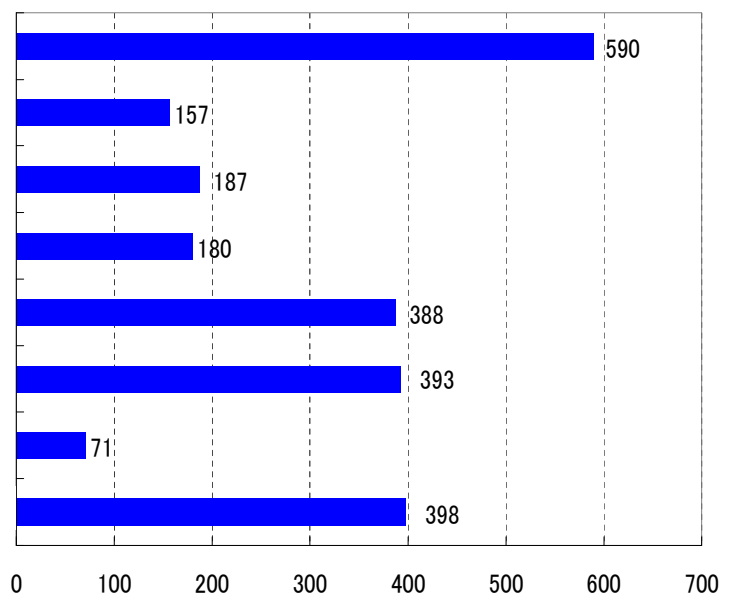
ポスター、看板などの啓発

自治会、住民との連携による監視、通報体制

監視カメラなどを設置し監視の強化

その他

無回答



市域の半分が山間部である交野市において不法投棄は大きな問題である。

実際に環境事業所では、職員が、市道、府道共に巡回パトロールをし、不法投棄を発見した場合、リストに記載し警察と連携をとって収集対応している。

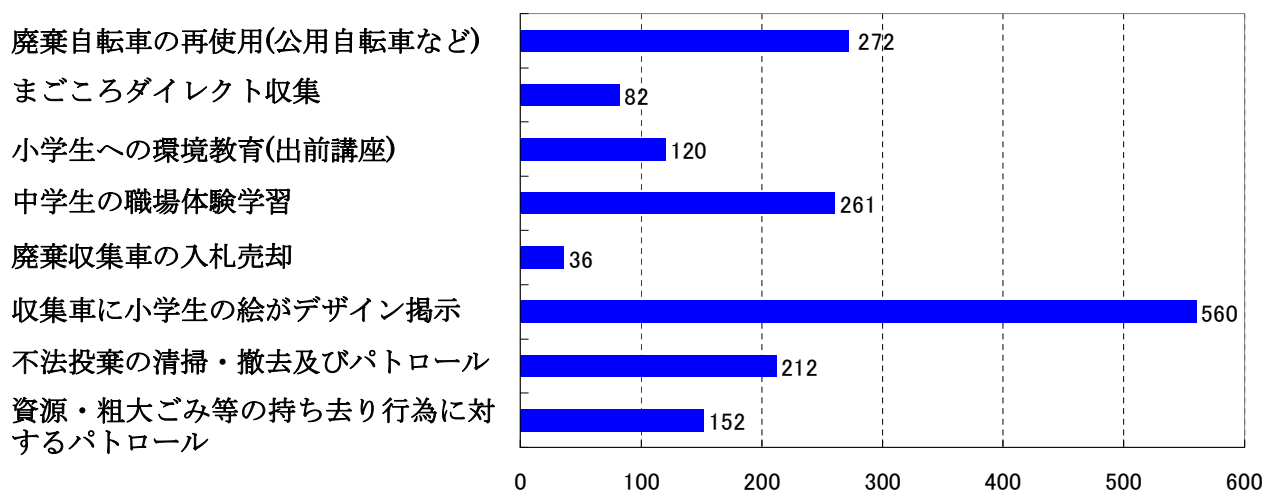
このリストの積み重ねで、投棄されやすい場所などをある程度特定し、効率的にパトロールを行っている。

定期的に一斉撤去を実施しているが、後を絶たない不法投棄の対策として、警察との連携を密にすると共に、市役所の関係部署と協議を行い不法投棄の撲滅をめざす。

問10 現在、環境事業所が行っている取り組みについて、ご存知な事を教えてください。

(複数回答可)

項目	回答数	回答率	順位
廃棄自転車の再使用(公用自転車など)	272	23.01%	2
まごころダイレクト収集	82	6.94%	7
小学生への環境教育(出前講座)	120	10.15%	6
中学生の職場体験学習	261	22.08%	3
廃棄収集車の入札売却	36	3.05%	8
収集車に小学生の絵がデザイン掲示	560	47.38%	1
不法投棄の清掃・撤去及びパトロール	212	17.94%	4
資源・粗大ごみ等の持ち去り行為に対するパトロール	152	12.86%	5
回答世帯数	1,182		



「収集車に小学生の絵がデザイン掲示」の認知度が約47%と一番高く、この取り組みは21年度で4回目となり応募数は年々増えている。また、21年度の333作品を市役所の各場所に展示したことで認知度が高い。

次に環境フェスタでの抽選・無料提供や公用自転車として希望する市役所各課に配布している自転車の再利用の認知度が高い。

環境教育の一環として行っている中学生の職場体験学習は収集業務を実際に体験し市民の方々と接する機会が多いため認知度が高い。

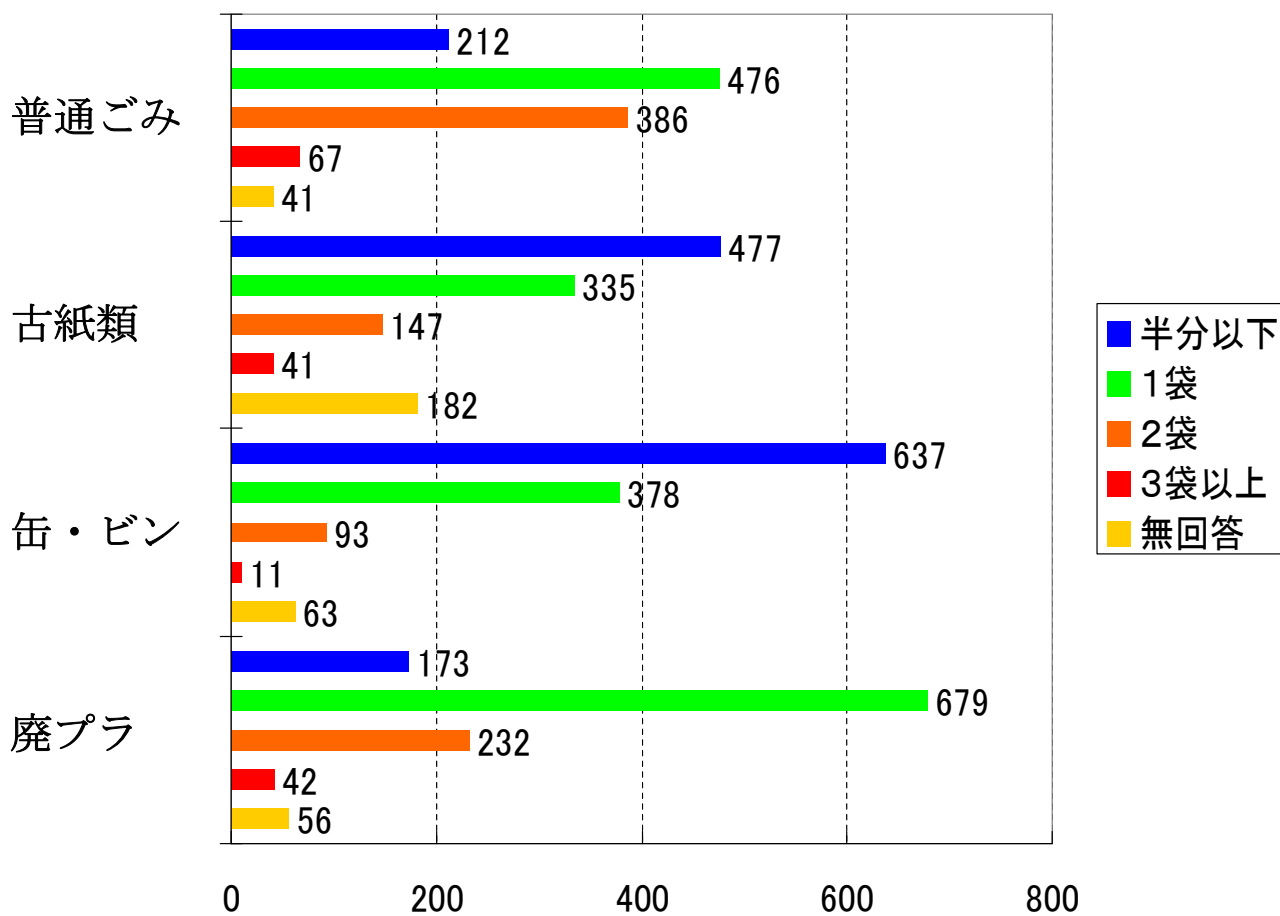
小学生への環境教育(出前講座)の認知度は低いが、ポイ捨てなどをせず分別マナーを身につけた人を育てるためには、子どもの時からの環境教育が大切なため、継続的に行うことが必要である。

今後は、自然環境を守るため不法投棄や缶・ビン等のポイ捨て禁止など環境にやさしい取り組みの啓発に努めることが必要である。

4) ごみの減量・リサイクルに対する取り組みについてお伺いします。

問11 1週間に出すごみの量は450袋でどれくらいの量ですか？

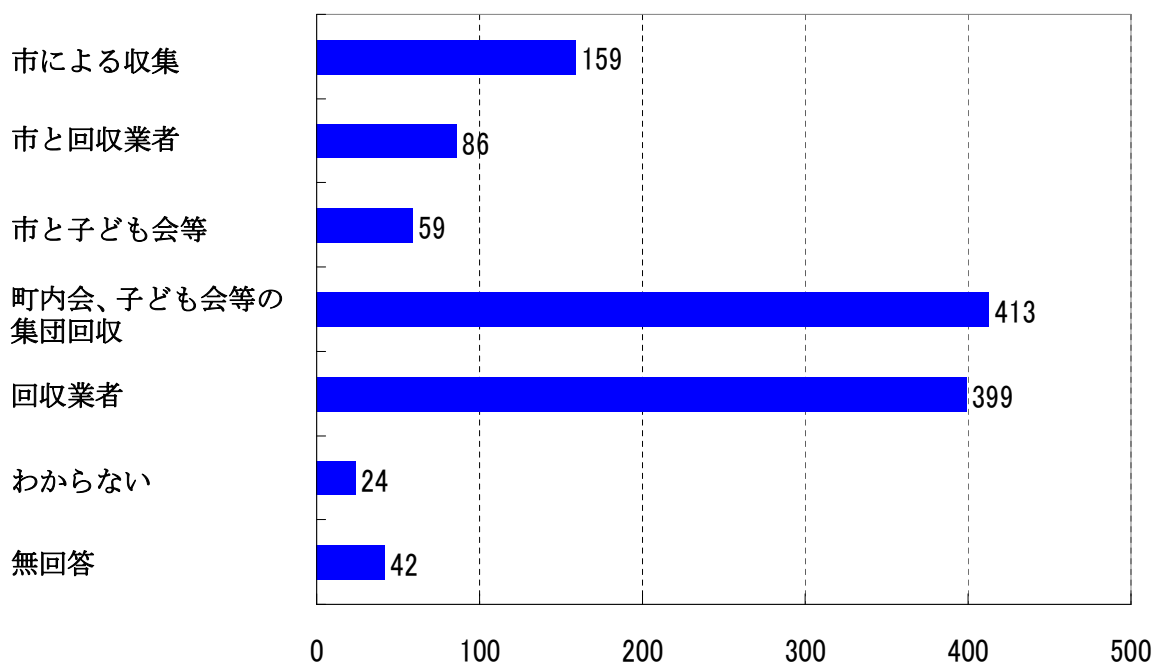
	普通ごみ		古紙類		缶・ビン		廃プラ	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
半分以下	212	17.93%	477	40.35%	637	53.89%	173	14.64%
1袋	476	40.27%	335	28.34%	378	31.98%	679	57.44%
2袋	386	32.66%	147	12.44%	93	7.87%	232	19.63%
3袋以上	67	5.67%	41	3.47%	11	0.93%	42	3.55%
無回答	41	3.47%	182	15.40%	63	5.33%	56	4.74%
総計	1,182	100%	1,182	100%	1,182	100%	1,182	100%



問12 資源ごみ（古紙類、缶・ビン等）の排出先を教えてください。

(1) 古紙類

項目	回答数	回答率	順位
市による収集	159	13.45%	3
市と回収業者	86	7.28%	4
市と子ども会等	59	4.99%	5
町内会、子ども会等の集団回収	413	34.94%	1
回収業者	399	33.76%	2
わからない	24	2.03%	7
無回答	42	3.55%	6
総計	1,182	100%	



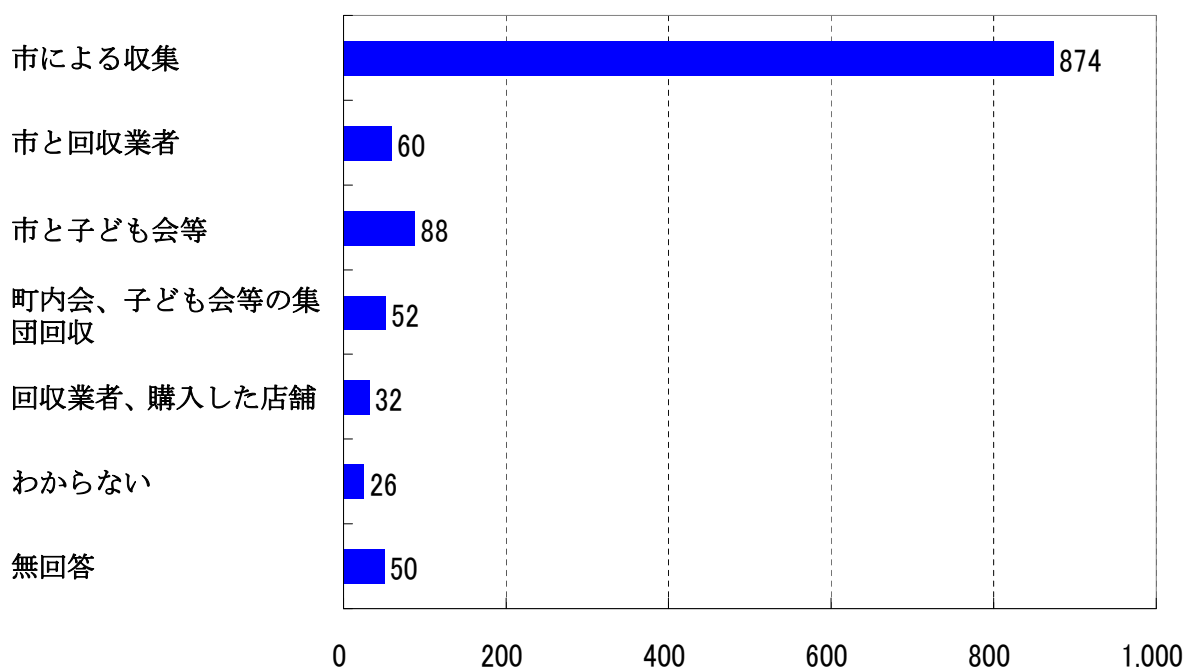
古紙類の回収について、市による回収は、「市と回収業者」を併せても約20%という回答となり、多数の方が町内会や子ども会等の集団回収や、回収業者へ排出していることが分かる。

この結果は循環型社会推進室によって回収袋や紙紐などを配布し集団回収を奨励しているからと考えられる。

今後も自治会や町内会等に協力を求め、資源ごみの分別と集団回収の啓発に努めていく。

(2) 缶・ビン

項目	回答数	回答率	順位
市による収集	874	73.94%	1
市と回収業者	60	5.08%	3
市と子ども会等	88	7.45%	2
町内会、子ども会等の集団回収	52	4.40%	4
回収業者、購入した店舗	32	2.71%	6
わからない	26	2.20%	7
無回答	50	4.23%	5
総計	1,182	100%	



古紙類とは逆に「市と回収業者」や「市と子ども会等」を含む約80%近くが市の直接回収となっている。古紙類に比べ過去より分別品目として市の直接回収を行ってきた結果、集団回収や回収業者等への排出が定着されず、現在においても大部分を占めている。

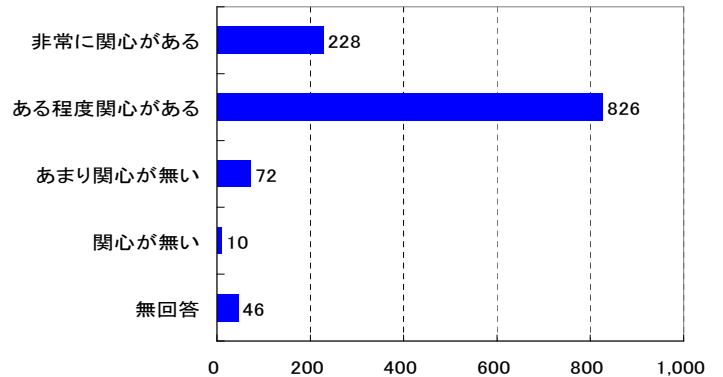
しかし、地区によっては地域の方が仕分けし業者に回収を依頼することによって地区の収入としているところもある。

このような中で、個人が、アルミ缶だけの抜き取りを行い不要なもの（スチール缶・ビン）を撒き散らすという事例の対応に苦慮している。

パトロールなどを強化しているが、数の多さに対応が間に合わないため苦情となっている。

### 問13 ごみの減量やリサイクルに関心がありますか？

項目	回答数	回答率
非常に興味がある	228	19.29%
ある程度関心がある	826	69.88%
あまり関心が無い	72	6.09%
関心が無い	10	0.85%
無回答	46	3.89%
総計	1,182	100%



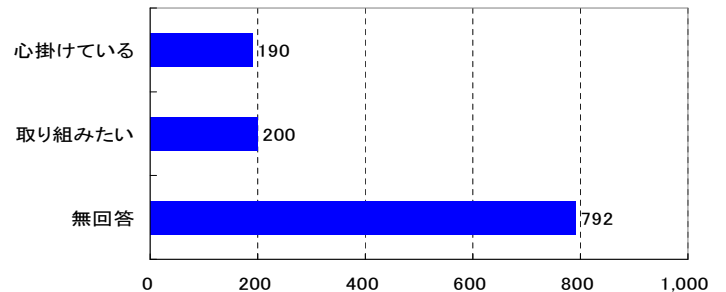
ごみの減量やリサイクルに対して「ある程度関心がある」を含めると関心のある回答が約90%となる。

この関心の高さを生かし各問題の啓発に努めたい。

### 問14 ごみを減量するために、普段から心掛けていることは、何ですか？ また、今後取り組みたいと思うことは、何ですか？

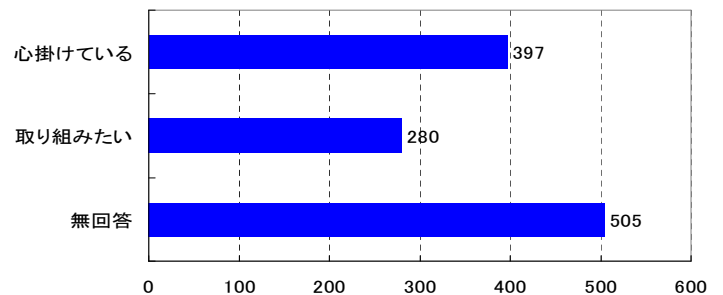
(1) 使い捨て商品を買わないようにしている

項目	回答数	回答率
心掛けている	190	16.07%
取り組みたい	200	16.92%
無回答	792	67.01%
総計	1,182	100%



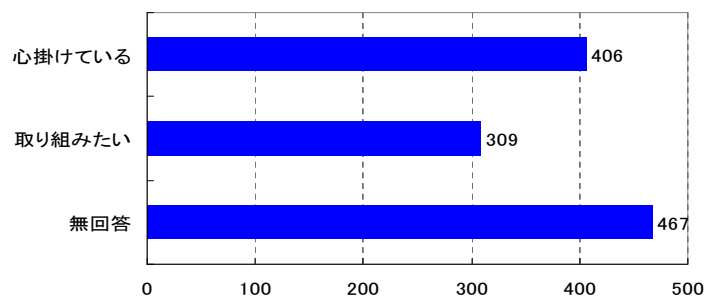
(2) レジ袋や割り箸を貰わない

項目	回答数	回答率
心掛けている	397	33.59%
取り組みたい	280	23.69%
無回答	505	42.72%
総計	1,182	100%



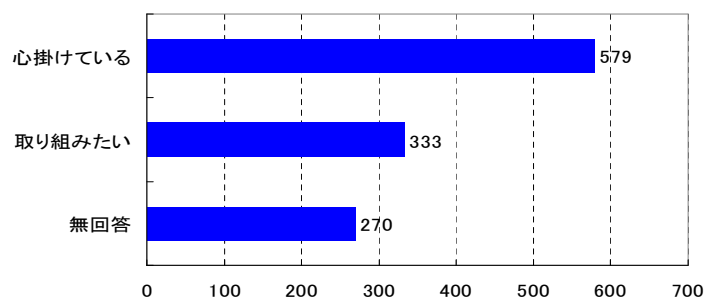
(3) 過剰包装を断る

項目	回答数	回答率
心掛けている	406	34.35%
取組みたい	309	26.14%
無回答	467	39.51%
総計	1,182	100%



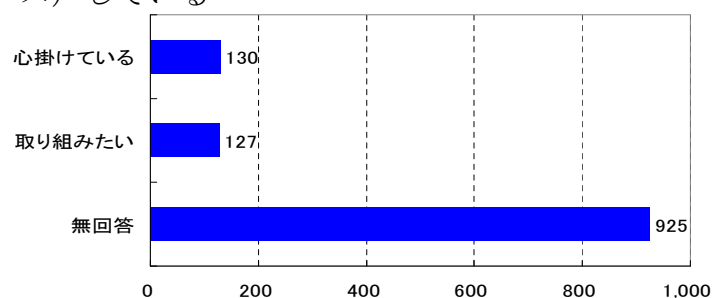
(4) 詰め替え式の商品を選んで買う

項目	回答数	回答率
心掛けている	579	48.99%
取組みたい	333	28.17%
無回答	270	22.84%
総計	1,182	100%



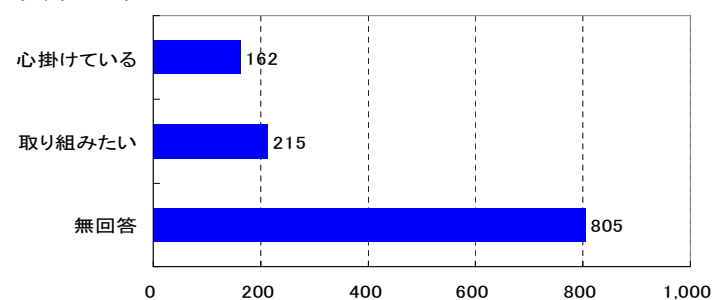
(5) 壊れた商品を直し、再使用（リユース）している

項目	回答数	回答率
心掛けている	130	11.00%
取組みたい	127	10.74%
無回答	925	78.26%
総計	1,182	100%



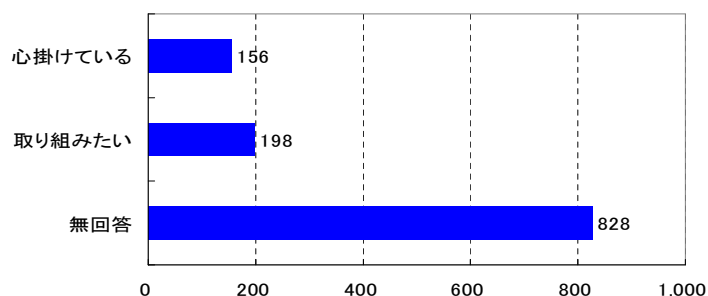
(6) エコ商品やリサイクル商品を選んで買うようにしている

項目	回答数	回答率
心掛けている	162	13.71%
取組みたい	215	18.19%
無回答	805	68.10%
総計	1,182	100%



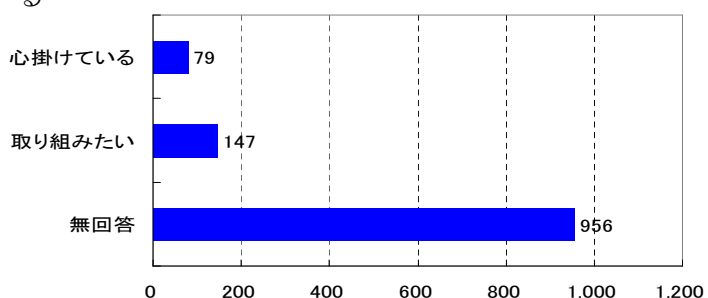
(7) 不用品などはフリーマーケットやリサイクルショップ・オークション・バザー等に出している

項目	回答数	回答率
心掛けている	156	13.20%
取組みたい	198	16.75%
無回答	828	70.05%
総計	1,182	100%



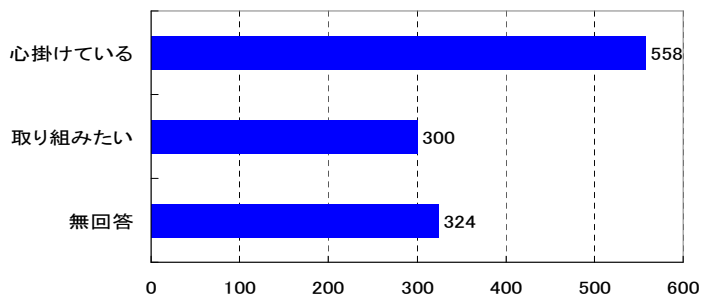
(8) 生ごみ（普通ごみ）を堆肥化している

項目	回答数	回答率
心掛けている	79	6.68%
取組みたい	147	12.44%
無回答	956	80.88%
総計	1,182	100%



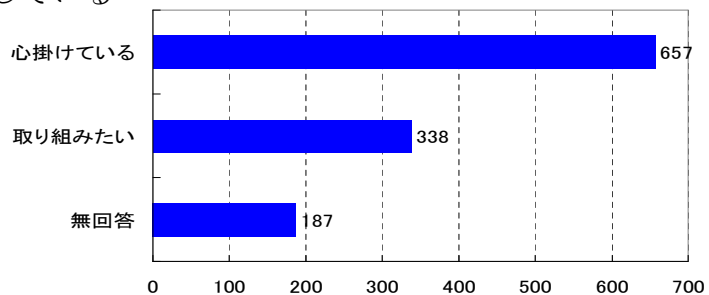
(9) 水切りをして排出している

項目	回答数	回答率
心掛けている	558	47.21%
取組みたい	300	25.38%
無回答	324	27.41%
総計	1,182	100%



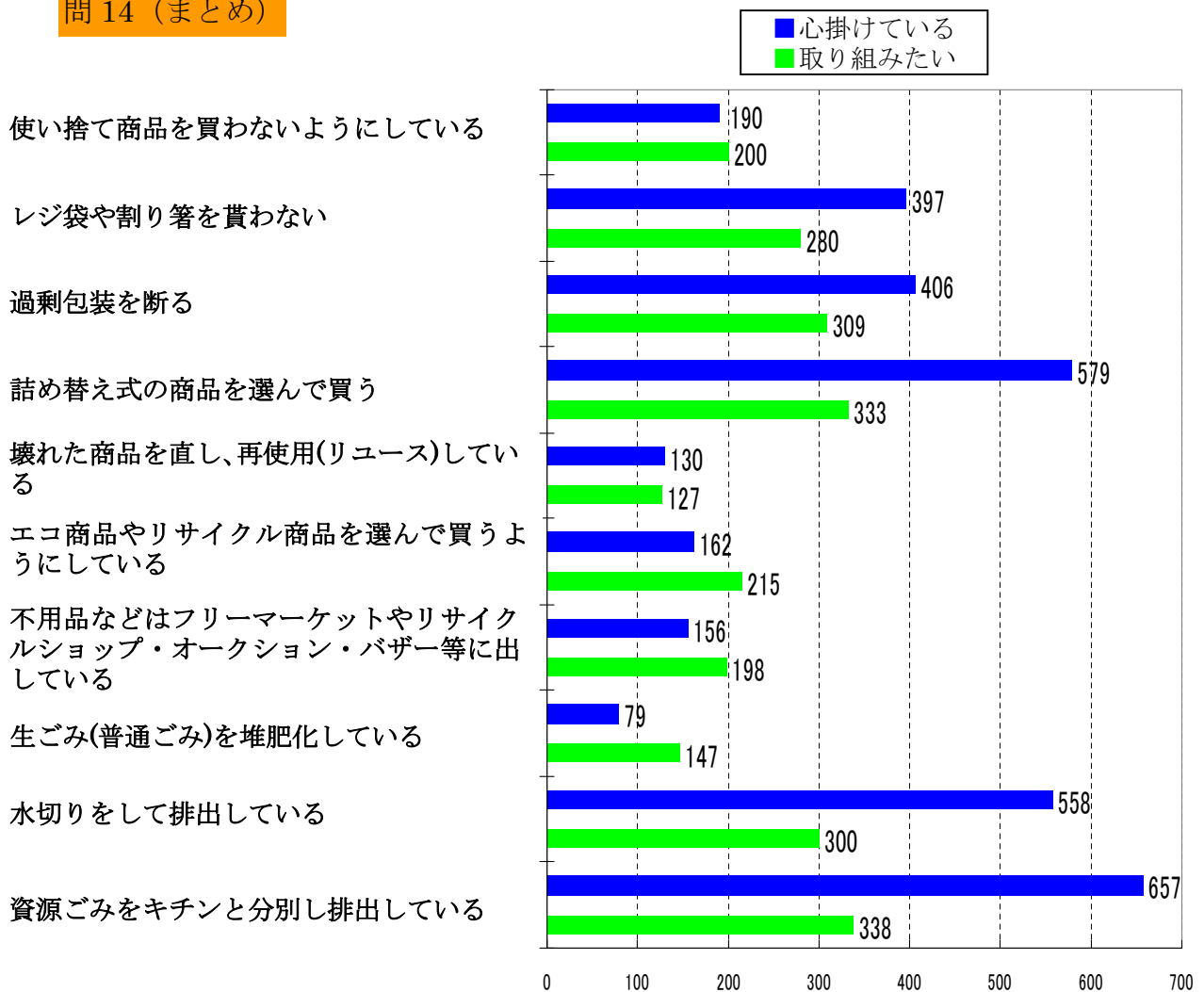
(10) 資源ごみをキッチンと分別し排出している

項目	回答数	回答率
心掛けている	657	55.58%
取組みたい	338	28.60%
無回答	187	15.82%
総計	1,182	100%





問 14 (まとめ)



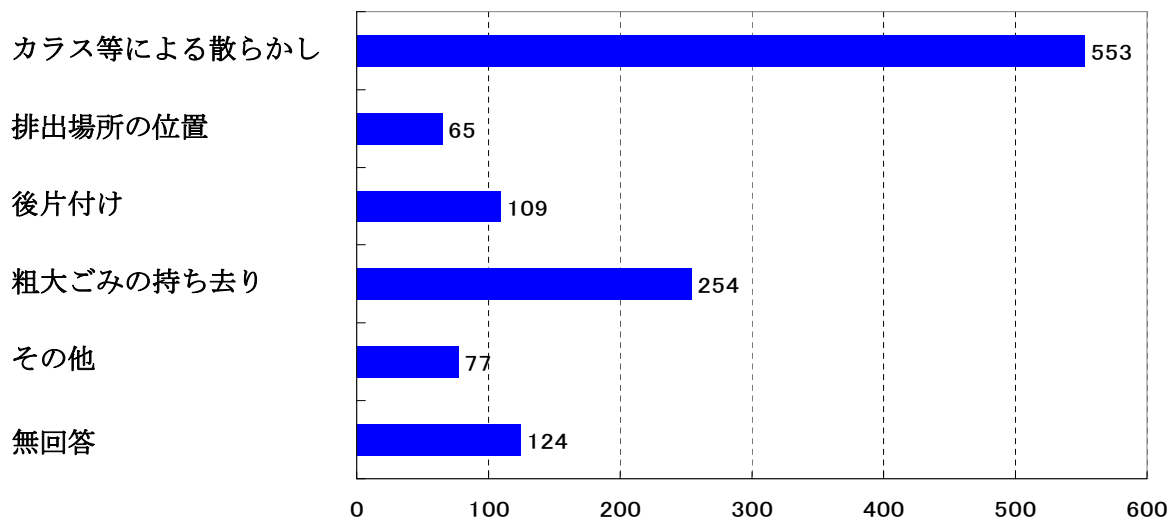
減量に対する取り組みで、心掛けていること（実際にやっていること）と今後取り組むたいことについてであるが、心掛けとして、資源ごみの分別、水切りが圧倒的に多いが、これは日々の啓発の結果である。これらは心掛けだけでなく、「今後取り組むたい」でも多くの回答があり、市民の潜在的な意識の中の必要性は浸透している。この他には、「詰め替え式の商品を買う」や「レジ袋や割り箸を使わない」「過剰包装を断る」といった回答が多く、製造元や小売店等の環境配慮が成果となっている。

どんな形でも、昨今、特に重要視されている環境問題に対する取り組みや心掛けを行っているという実感を市民が持つことができれば更なる意識の向上に繋がり、ごみの減量やリサイクルに繋がる。

この様な取り組みを市民の方々がやっていることから、交野市は他市と比べてごみの減量ができていると考えられる。

問 1 5 ごみの排出時にお困りになる事があればお書きください。

項目	回答数	回答率	順位
カラス等による散らかし	553	46.79%	1
排出場所の位置	65	5.50%	5
後片付け	109	9.22%	3
粗大ごみの持ち去り	254	21.49%	2
その他	77	6.51%	4
無回答	124	10.49%	
総計	1,182	100%	



カラス被害は非常に多く、収集時間の要望に直結する問題である。各ごみステーションで市民が自主的に清掃当番をしておられるが、カラス被害による後片付けが、当番の負担になっている。また、生ごみを散らかすことにより、不衛生であり夏場には悪臭も酷い。

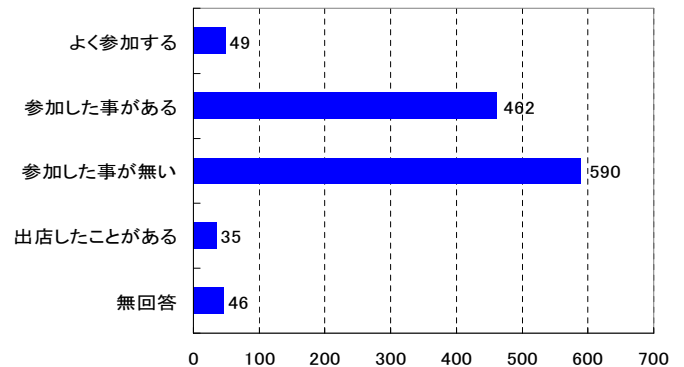
ごみ袋の色によっては、「カラスから見えない」ものもあり、今後効果のあるものについては情報を集め、市民に対しアドバイスできるよう努めたい。

収集現場で直接相談を受けることも非常に多いこの問題は、市民からも苦情と問題解決の期待があり収集員が統一した中身の濃い回答をできるよう努力する。

粗大ごみの持ち去り問題は、排出後の所有権の問題など様々な課題はあるが、勝手に持ち去られた後、粗大ごみに貼り付けていた番号と名前を書いた紙を持ち去った者が、不要なごみに張り関係の無い家の玄関先に置くなど悪質化しているのが現状であり、今後の検討課題である。

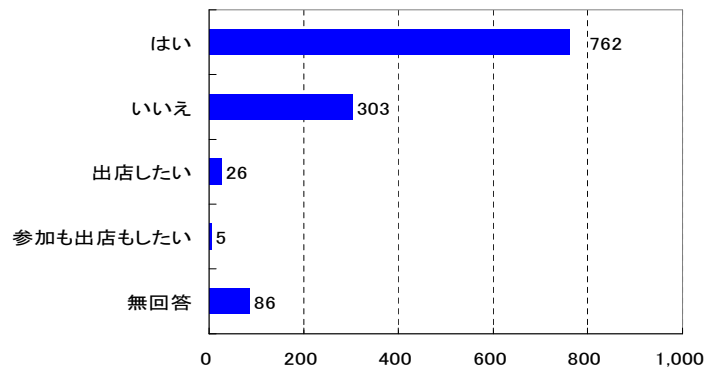
問16 これまでにフリーマーケットやバザーに参加されたことがありますか？

項目	回答数	回答率
よく参加する	49	4.15%
参加した事がある	462	39.09%
参加した事がない	590	49.92%
出店したことがある	35	2.96%
無回答	46	3.89%
総計	1,182	100%



問17 市がごみの減量及びリサイクルに対する取り組みを目的としたフリーマーケットやバザーを行えば参加したいと思いますか？

項目	回答数	回答率
はい	762	64.47%
いいえ	303	25.63%
出店したい	26	2.20%
参加も出店もしたい	5	0.42%
無回答	86	7.28%
総計	1,182	100%



フリーマーケットやバザーについて、市民の関心の高さが伺える。

リユースの観点からはこの上ない取り組みとなるが、様々なルール作りが必要となる。実際に環境事業所の収集作業員が他市でゴミ担当部局が主催しているフリーマーケットやバザーに休日を利用し、数人で参加（出店ではない）したが、営利を目的とした出店や、購入後のトラブル等、事前に心配しているような問題はほとんど無く、「市民主体」という形の基に成功している例がある。

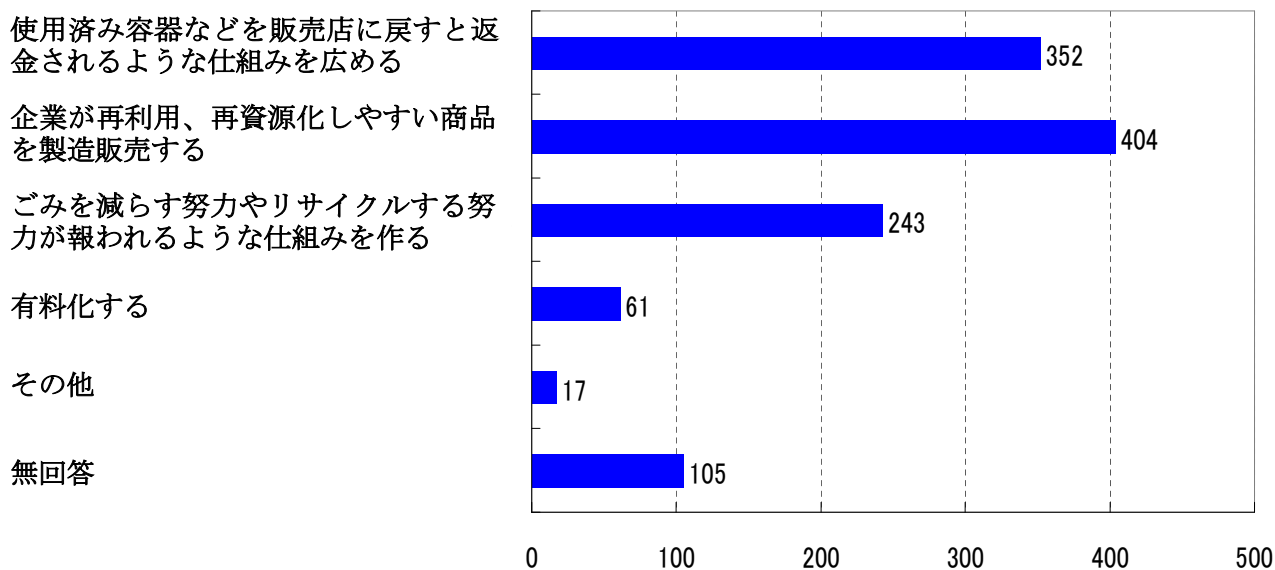
実際に寺作業所に持ち込まれるゴミの中にも、まだまだ使える「もったいない」物は沢山あり、粗大ゴミを排出する市民から収集員に対して「フリマせえへんの？」と言った声も多く聞かれる。

ただし、回答の中で「参加したい」は約65%あったものの、「出店したい」は、約2%と、「参加したい」に比べれば非常に少ない。

全回答数の中で、「これまで参加したことが無い」が約50%を占めていることから、フリーマーケットやバザーがどんなものであるかの周知や参加しやすさに重点を置き検討すれば、職員が参加した他市の事例のような開催は可能である。

問18 ごみの減量やリサイクルを進めるには、どのようなことが重要だと思いますか？

項目	回答数	回答率	順位
使用済み容器などを販売店に戻すと返金されるような仕組みを広める	352	29.78%	2
企業が再利用、再資源化しやすい商品を製造販売する	404	34.18%	1
ごみを減らす努力やリサイクルする努力が報われるような仕組みを作る	243	20.56%	3
有料化する	61	5.16%	5
その他	17	1.44%	6
無回答	105	8.88%	4
総計	1,182	100%	



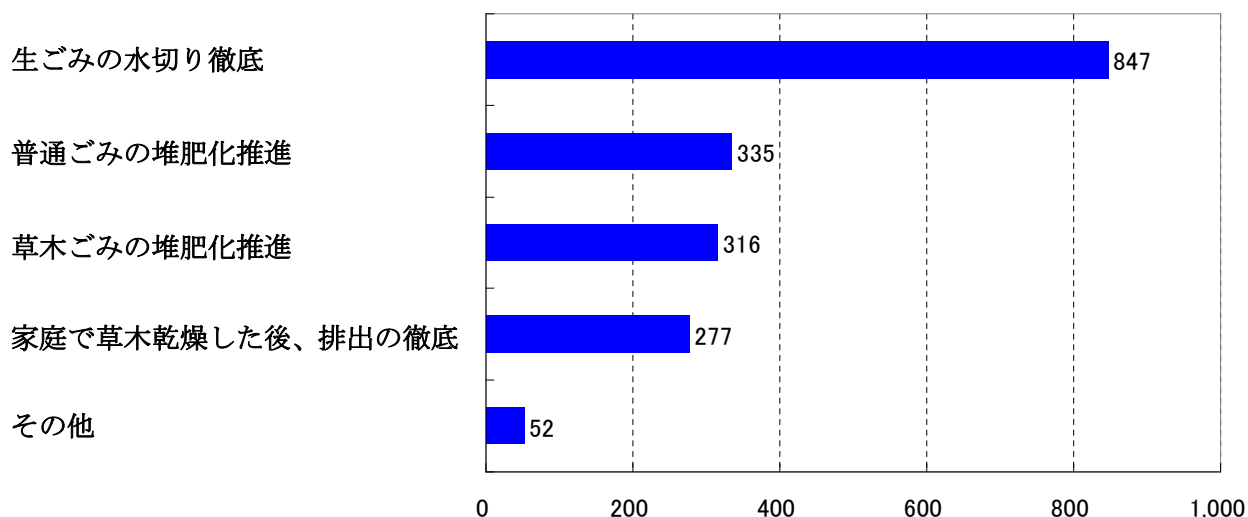
「企業が再利用、再資源化しやすい商品を製造販売する」「使用済み容器などを販売店に戻すと返金されるような仕組みを広める」が全体の約64%を占めており、製造、販売の過程における問題であるとの回答であった。

それに対し3番目に多かった「ごみを減らす努力やリサイクルする努力が報われるような仕組みを作る」という回答は、行政に対する期待であり、そのような期待に応えることが出来ないか今後の課題である。

問19 現在、普通ごみや草木ごみを焼却場へ搬入し焼却処理を行っていますが、水分が多く含まれるため燃えにくくなります。解消するためにはどのようにすればよいと思いますか？

(複数回答可)

項目	回答数	回答率	順位
生ごみの水切り徹底	847	71.66%	1
普通ごみの堆肥化推進	335	28.34%	2
草木ごみの堆肥化推進	316	26.73%	3
家庭で草木乾燥した後、排出の徹底	277	23.43%	4
その他	52	4.40%	5
回答世帯数	1,182		



廃プラの分別収集開始以来、焼却場において、草木ごみを含めた普通ごみが燃えにくくなっている事が問題となっている。

回答の中でも一番多い生ごみの水切りの徹底は、これまでも取り組んできたことであり、先の回答の中でも、交野市民は、「心掛け」「取り組みたい」の中でも合計で約70%以上と最も回答の多かった項目である。

収集業務の中でも、実際にごみ袋の水分は全体的に少なくなっている。

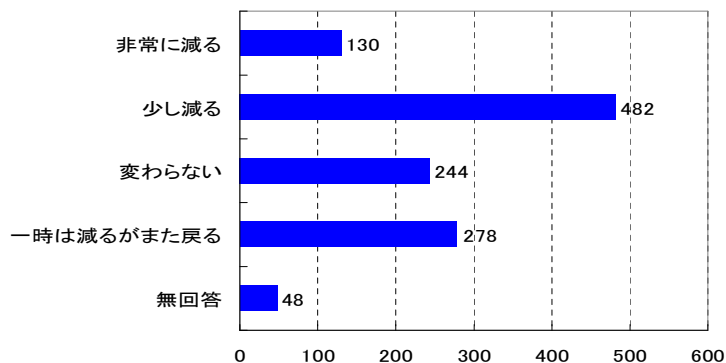
この水切りの啓発は今後も続けていくが、水分を多く含む草木ごみの問題に対して、環境事業所では平成17年より取り組んできた。

様々な案を試行し現在も草木ごみを焼却場に持ち込まずに処理する方法を引き続き検討し試行している。

5) ごみの有料化についてお伺いします。

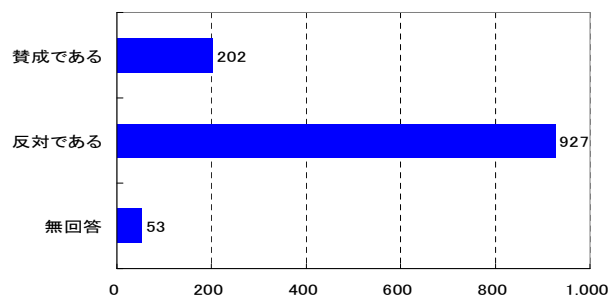
問20 あなたはごみの有料化が始まれば排出ごみ量が減ると思いますか？

項目	回答数	回答率
非常に減る	130	11.00%
少し減る	482	40.78%
変わらない	244	20.64%
一時は減るがまた戻る	278	23.52%
無回答	48	4.06%
総計	1,182	100%

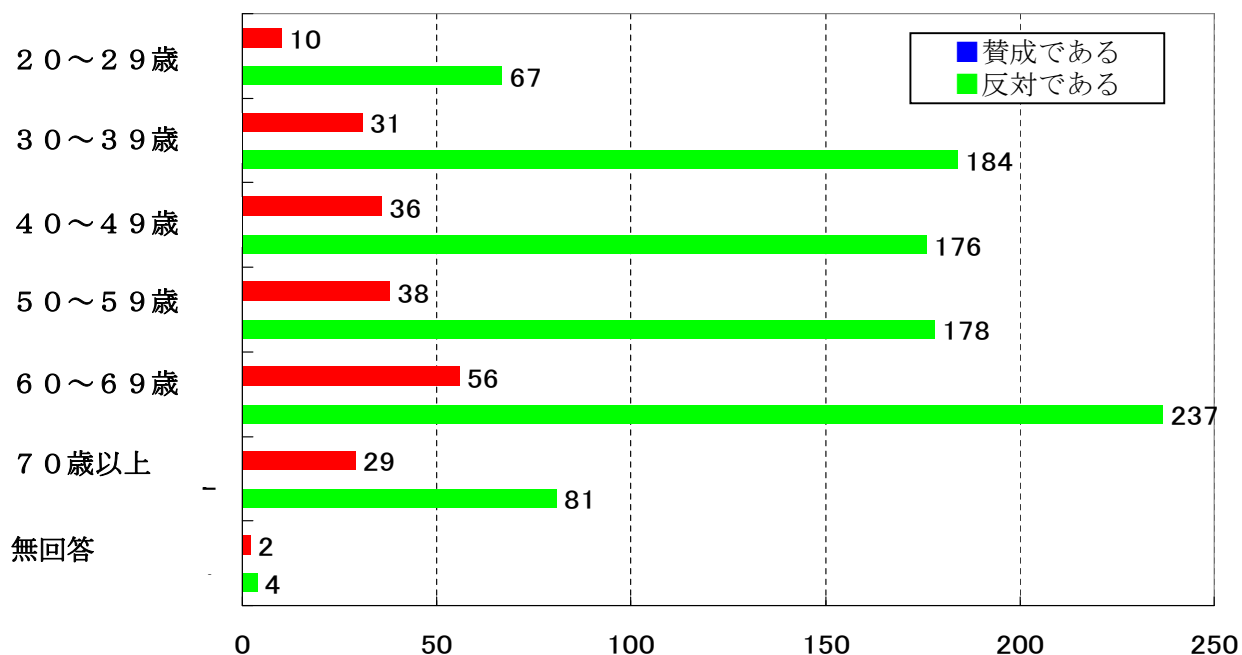


問21 ごみの有料化についてどのように思いますか？

項目	回答数	回答率
賛成である	202	17.09%
反対である	927	78.43%
無回答	53	4.48%
総計	1,182	100%



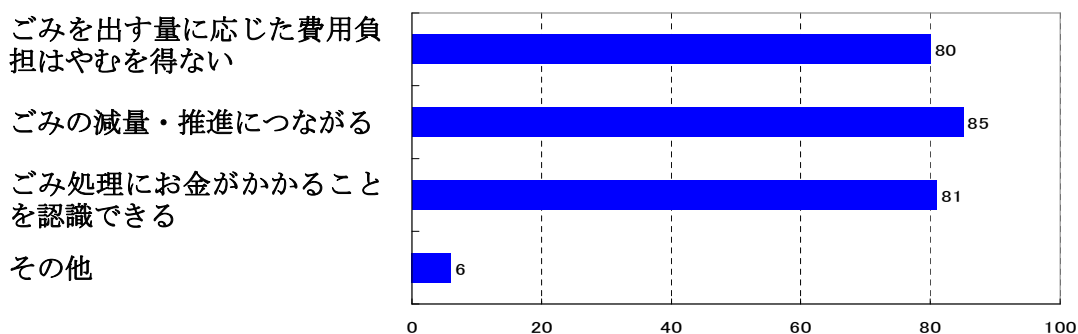
【年代別集計】



問 2 2 賛成の理由をお聞かせください。

(複数回答可)

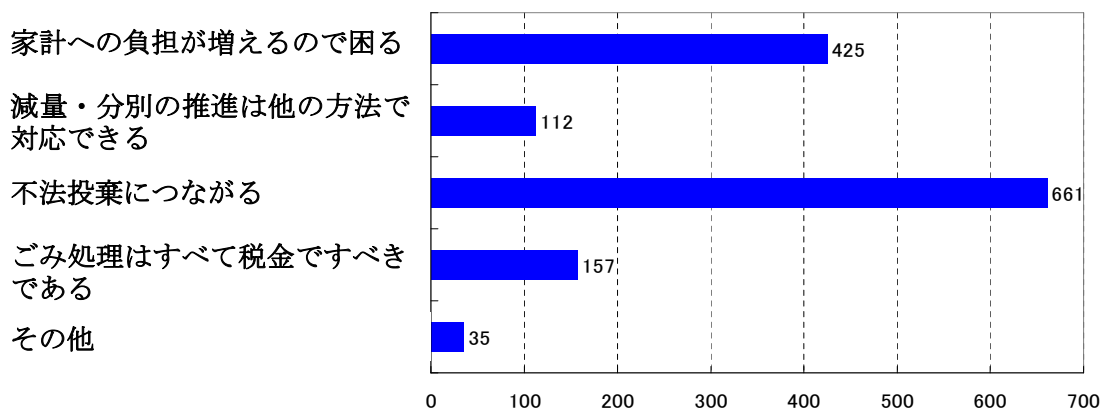
項目	回答数	回答率
ごみを出す量に応じた費用負担はやむを得ない	80	39.60%
ごみの減量・推進につながる	85	42.08%
ごみ処理にお金がかかることを認識できる	81	40.10%
その他	6	2.97%
回答世帯数	202	



問 2 3 反対の理由をお聞かせください。

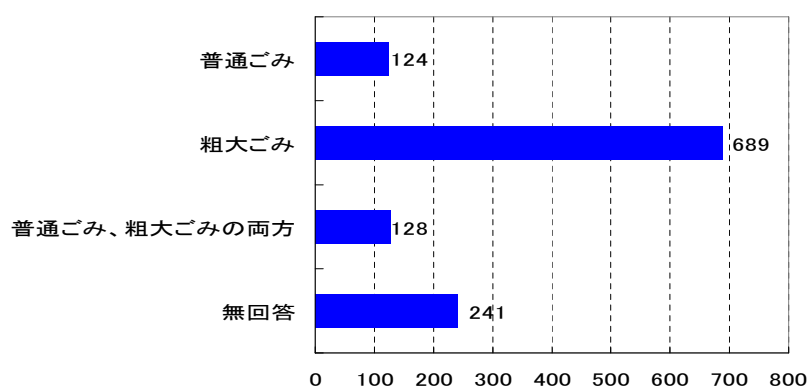
(複数回答可)

項目	回答数	回答率
家計への負担が増えるので困る	425	45.85%
減量・分別の推進は他の方法で対応できる	112	12.08%
不法投棄につながる	661	71.31%
ごみ処理はすべて税金ですべきである	157	16.94%
その他	35	3.78%
回答世帯数	927	



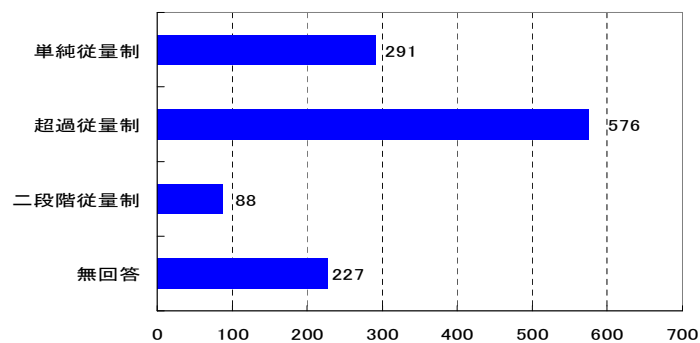
問 2 4 ごみの有料化を行うのであれば、どの方式が良いと思いますか？

項 目	回答数	回答率	順 位
普通ごみ	124	10.49%	4
粗大ごみ	689	58.29%	1
普通ごみ、粗大ごみの両方	128	10.83%	3
無回答	241	20.39%	2
総 計	1,182	100%	



問 2 5 ごみの有料化を行うのであれば、どの方式が良いと思いますか？

項 目	回答数	回答率
単純従量制	291	24.62%
超過従量制	576	48.73%
二段階従量制	88	7.45%
無回答	227	19.20%
総 計	1,182	100%





## 有料化について

有料化が開始されることにより、ごみの減量に繋がるかという問いに対して、「非常に減る」「少し減る」を併せると 51.78%の回答であった。有料化がごみの減量に繋がるという意識があるものの、「変わらない」「一時は減るがまた戻る」も併せて 44.16%の回答であり、ごみの減量を不安視していることもわかる。

賛成理由について、選択項目であった「ごみを出す量に応じた費用負担はやむを得ない」「ごみの減量・推進に繋がる」「ごみ処理にお金がかかることを認識できる」共に 40%前後の回答となり意見が分かれた。

反対理由として、第1位は「不法投棄に繋がる」が 71.31%と非常に多くなっているが『不法投棄』は『犯罪』であり個人の意識の問題である。

逆に「ごみ処理はすべて税金ですべきである」との意見は 16.94%に留まった。

有料化を行う場合のごみ種別は他市でも多く実施されている粗大ごみと回答した人が 60%近く臨時的に排出される粗大ごみであれば・・・という回答結果である。普通ごみを選択した回答は 10%程しかなかった。

有料化を行う際の、方式については、50%近くが超過従量制である。

考え方としては、ごみを多く出す人は負担も多くしてもらうのが当然であるという結果であるが、他市の結果から『超過従量制』から『単純従量制』に変更している市が多い、この事は一定枚数まで無料配布し超過をすれば有料にてごみ袋を購入しなければならない方式だが一世帯ごとの人数、又は年齢等によりごみ排出量も異なることから公平な配布が困難であるため、全て有料で家庭の必要分だけを購入してもらう方式に変更しているのが現状である。

## 最後に

今回の「交野市のごみに関する取り組み等について(アンケート調査)」は、現在の取り組みに対しての大きな設問として、①ごみの収集業務等について②ごみの啓発・パトロールについて③ごみの減量・リサイクルに対する取り組み等について④ごみの有料化について⑤自由意見を設け、現在行っている取り組みの充実を図ると共に、ごみの減量・資源化推進など、市民の皆様の理解度や考えを調査しました。

また、アンケートの企画、作成、市民への送付、回答集計、回答分析、コメントの作成等、全ての作業を現場で実際に市民と接している収集員が行いました。

自由意見などは、実際の収集の参考となる意見も多くあり、分析を行いながら、早急に対応できる内容ですぐに動けるものは既に取り組みを行っています。

職場全体で、協議しなければならない改善要望や、勤務時間に係るような収集時間の変更等の収集職員の労働条件に係る改善要望など、必要に応じ市全体の問題として慎重に取り組まなければならない項目もあります。

現場業務の合間に行いましたが、実際に収集員が全ての作業を直接行うことで、回答内容も理解しながら取り組むことができました。

今後、収集員に直接伝わったこの貴重な意見を参考に、市民がごみ行政に満足できるよう日々の参考とさせていただき、ごみの収集方法や啓発方法等に活かし、できることから順に改善を行い、住民サービスの向上を考えております。

最後に、このアンケートにご協力いただきました市民の皆様、日々市の環境行政にご協力いただいている市民の皆様、ごみ収集業務に手を振って応援してくれている子どもたちに感謝の意を込めて。

交野市環境部循環型社会推進室環境事業所

## あなたご自身について、お伺いします

1. あなたの性別を教えてください。

- (1. 男性                      2. 女性)

2. あなたの年齢を教えてください。

- (1. 20才未満      2. 20～29才      3. 30～39才      4. 40～49才  
5. 50～59才      6. 60～69才      7. 70才以上)

3. 同居しているご家族の人数をあなたも含めて教えてください。

- (1. 1人                      2. 2人                      3. 3人  
4. 4人                      5. 5人                      6. 6人以上)

4. 現在、お住まいの地域を教えてください。

- |          |          |         |         |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 青山    | 2. 天野が原町 | 3. 幾野   | 4. 梅が枝  |
| 5. 私市    | 6. 私市山手  | 7. 私部   | 8. 私部西  |
| 9. 私部南   | 10. 倉治   | 11. 郡津  | 12. 神宮寺 |
| 13. 寺    | 14. 南星台  | 15. 東倉治 | 16. 藤が尾 |
| 17. 傍示   | 18. 星田   | 19. 星田北 | 20. 星田西 |
| 21. 星田山手 | 22. 松塚   | 23. 妙見坂 | 24. 妙見東 |
| 25. 向井田  | 26. 森    | 27. 森北  | 28. 森南  |

5. 交野市での居住年数を教えてください。

- (1. 5年未満                      2. 5年以上～10年未満  
3. 10年以上～20年未満      4. 20年以上)

## 1. ごみの収集業務等についてお伺いします

問1. あなたは現在の収集回数についてどのように思いますか？

- ①普通ごみ (1. 増やして欲しい    2. 現状のままでよい    3. 減らして欲しい )  
②古紙類 (1. 増やして欲しい    2. 現状のままでよい    3. 減らして欲しい )  
③缶・ビン (1. 増やして欲しい    2. 現状のままでよい    3. 減らして欲しい )  
④廃プラ (1. 増やして欲しい    2. 現状のままでよい    3. 減らして欲しい )  
⑤粗大ごみ (1. 増やして欲しい    2. 現状のままでよい    3. 減らして欲しい )

問2. あなたの④排出場所の収集時間をお聞かせ下さい。また、現在の⑥収集時間についてどのように思いますか？

- ①普通ごみ④〔1. 午前 2. 午後 3. わからない〕  
⑥〔1. 現状のままでよい 2. 変更して欲しい 3. わからない〕
- ②古紙類④〔1. 午前 2. 午後 3. わからない〕  
⑥〔1. 現状のままでよい 2. 変更して欲しい 3. わからない〕
- ③缶・ビン④〔1. 午前 2. 午後 3. わからない〕  
⑥〔1. 現状のままでよい 2. 変更して欲しい 3. わからない〕
- ④廃プラ④〔1. 午前 2. 午後 3. わからない〕  
⑥〔1. 現状のままでよい 2. 変更して欲しい 3. わからない〕
- ⑤粗大ごみ④〔1. 午前 2. 午後 3. わからない〕  
⑥〔1. 現状のままでよい 2. 変更して欲しい 3. わからない〕

問3. 普通ごみ・廃プラを分別していますが、収集回数についてどのように思いますか？

- ①普通ごみ 週2回収集〔1. 1回でよい 2. 現状でよい 3. わからない〕  
②廃プラ 週1回収集〔1. 現状でよい 2. 2回がよい 3. わからない〕

問4. ごみ出しルールで守られていると思うものはどれですか？

- 〔1. 排出日 2. 時間帯 3. 場所 4. ごみ袋の色 5. 資源ごみの混入  
6. 違う地区の人が出す 7. その他( )〕

## 2. ごみの啓発・パトロールについてお伺いします

問5. あなたのお宅に『交野市のごみ出しマニュアル』はありますか？

- (1. はい 2. いいえ)

※お持ちでない方は市役所・星田出張所・環境事業所にてお渡ししています

問6. ごみの分別(出し方)について迷うことがありますか？

- ①普通ごみ (1. 迷わない 2. たまに迷う 3. よく迷う)  
②古紙類 (1. 迷わない 2. たまに迷う 3. よく迷う)  
③缶・ビン (1. 迷わない 2. たまに迷う 3. よく迷う)  
④廃プラ (1. 迷わない 2. たまに迷う 3. よく迷う)  
⑤粗大ごみ (1. 迷わない 2. たまに迷う 3. よく迷う)

問7. ごみの分別についての説明会を行なう必要があると思いますか？

- (1. 必要がある 2. 必要はない )

問 8. 現在、違反ごみについては、適正な分別排出の為に啓発の意味を込めて違反シールを貼り、取り置きとする対応を行なっていますがどのように思いますか？

1. 分別意識の向上につながるのよい
2. 分別排出の啓発を徹底してほしい
3. ごみを出す人が互いに注意しあうべきである
4. 違反ごみであっても収集すべきである

問 9. 不法投棄を防止するためにパトロールを行なっていますが、交野市の山々や市内には数多くのごみが不法投棄されています。不法投棄の防止対策として、どのような方法が効果的だと思いますか？

**※該当するものが複数であれば2つまで○をつけて下さい。**

1. 職員による巡回、パトロールの強化
2. 関係機関(国・府等)との連携
3. 郵便局、タクシー業界などとの連携と通報体制
4. ポスター、看板などの啓発
5. 自治会等、住民との連携による監視・通報体制
6. 監視カメラ等を設置し監視の強化
7. その他( )

問 10. 現在、環境事業所が行なっている取り組みについて、ご存知な事を教えてください。

**※該当するものが複数であれば該当するすべてに○をつけて下さい。**

1. 廃棄自転車の再使用 (公用自転車など)
2. まごころダイレクト収集  
※要介護認定等、一定の基準に基づく玄関先までの個別収集
3. 小学生への環境教育(出前講座)
4. 中学生の職場体験学習
5. 廃棄収集車の入札売却
6. 収集車に小学生の絵がデザイン掲示
7. 不法投棄の清掃・撤去及びパトロール
8. 資源・粗大ごみ等の持ち去り行為に対するパトロール

☆ご意見・ご感想があればお書き下さい。

### 3. ごみの減量・リサイクルに対する取り組み等についてお伺いします

問 11. 1 週間に出すごみの量は 450 袋でどれくらいの量ですか？

- ①普通ごみ (2 回分) 

1. 半分以下	2. 1 袋
3. 2 袋	4. 3 袋以上
- ②古紙類 

1. 半分以下	2. 1 袋
3. 2 袋	4. 3 袋以上
- ③缶・ビン 

1. 半分以下	2. 1 袋
3. 2 袋	4. 3 袋以上
- ④廃プラ 

1. 半分以下	2. 1 袋
3. 2 袋	4. 3 袋以上

問 12. 資源ごみ(古紙類、缶・ビン等)の排出先を教えてください？

- ①古紙類 

1. 市による収集	2. 町内会・子ども会等の集団回収
3. 回収業者	4. わからない
- ②缶・ビン 

1. 市による収集	2. 町内会・子ども会等の集団回収
3. 回収業者・購入した店舗	4. わからない

問 13. ごみの減量やリサイクルに関心がありますか？

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない     |

問 14. ごみを減量するために、普段から心掛けていることがあれば 1~10 の中から○を付けて下さい。また、今後取り組みたいと思う事にア~コの中から○を付けて下さい。

**※該当するものが複数であれば該当するすべてに○をつけて下さい。**

1. ア. 使い捨て商品を買わないようにしている
2. イ. レジ袋や割り箸を貰わない
3. ウ. 過剰包装を断る
4. エ. 詰め替え式の商品を選んで買う
5. オ. 壊れた商品を直し、再使用(リユース)している
6. カ. エコ商品やリサイクル商品を選んで買うようにしている
7. キ. 不用品などはフリーマーケットやリサイクルショップ・オークション・バザー等に出している
8. ク. 生ごみ(普通ごみ)を堆肥化している
9. ケ. 水切りをして排出している
10. コ. 資源ごみをキッチンと分別し排出している

問 15. ごみの排出時にお困りになる事があればお書き下さい。

**※該当するものが複数であれば該当するすべてに○をつけて下さい。**

- ( 1. カラスなどによる散らかし 2. 排出場所の位置 3. 後片付け  
4. 粗大ごみの持ち去り 5. その他( ) )

問 16. これまでにフリーマーケットやバザーに参加された事がありますか？

- ( 1. よく参加する 2. 参加した事がある  
3. 参加した事がない 3. 出店したことがある )

問 17. 市がごみの減量及びリサイクルに対する取り組みを目的としたフリーマーケットやバザーを行なえば参加したいと思いませんか？

- ( 1. はい 2. いいえ 3. 出店したい )

問 18. ごみの減量やリサイクルを進めるには、どのようなことが重要だと思いませんか？

**※最も重要だと思うもの1つに○をつけて下さい。**

- ( 1. 使用済容器などを販売店にもどすと返金されるような仕組みを広める  
2. 企業が再利用・再資源化しやすい商品を製造販売する  
3. ごみを減らす努力や、リサイクルする努力が報われるような仕組みを作る  
4. 有料化する  
5. その他( ) )

問 19. 現在、普通ごみや草木ごみを焼却炉へ搬入し焼却処理を行なっていますが水分が多く含まれるため燃えにくくなります。解消するためにはどのようにすればよいと思いませんか？ **※該当するものが複数であれば該当するすべてに○をつけて下さい。**

- ( 1. 生ごみの水切り徹底 2. 普通ごみの堆肥化推進  
3. 草木ごみの堆肥化推進 4. 家庭で草木乾燥した後排出の徹底  
5. その他( ) )

#### 4. ごみの有料化についてお伺いします

問 20. あなたはごみの有料化が始まれば排出ごみ量が減ると思いませんか？

- ( 1. 非常に減る 2. 少し減る  
3. 変わらない 4. 一時は減るが又戻る )

問 21. ごみの有料化についてどのように思いますか？**※記入後、矢印の問いにお進み下さい。**

- ( 1. 賛成である⇒問 22 にお答え下さい  
2. 反対である⇒問 23 にお答え下さい )

問 22. 賛成の理由をお聞かせ下さい。

- 1. ごみを出す量に応じた費用負担はやむを得ない
- 2. ごみの減量・推進につながる
- 3. ごみ処理にお金がかかることを認識できる
- 4. その他( )

問 23. 反対の理由をお聞かせ下さい。

- 1. 家計への負担が増えるので困る
- 2. 減量・分別の推進は他の方法で対応できる
- 3. 不法投棄につながる
- 4. ごみ処理はすべて税金ですべきである
- 5. その他( )

問 24. ごみの有料化を行なうのであれば、どの種類が良いと思いますか？

- 1. 普通ごみ
- 2. 粗大ごみ
- 3. 普通・粗大ごみの両方

問 25. ごみの有料化を行なうのであれば、どの方式が良いと思いますか？

- 1. 単純従量制 ⇒すべて指定袋を購入して出す方式。
- 2. 超過従量制 ⇒一定枚数の指定袋が無料で配布されるが、それを超過すると高額で指定袋を購入する方式。
- 3. 二段階従量制 ⇒一定枚数までは指定袋が低額で配布されるが、それを超過すると高額で指定袋を購入する方式。

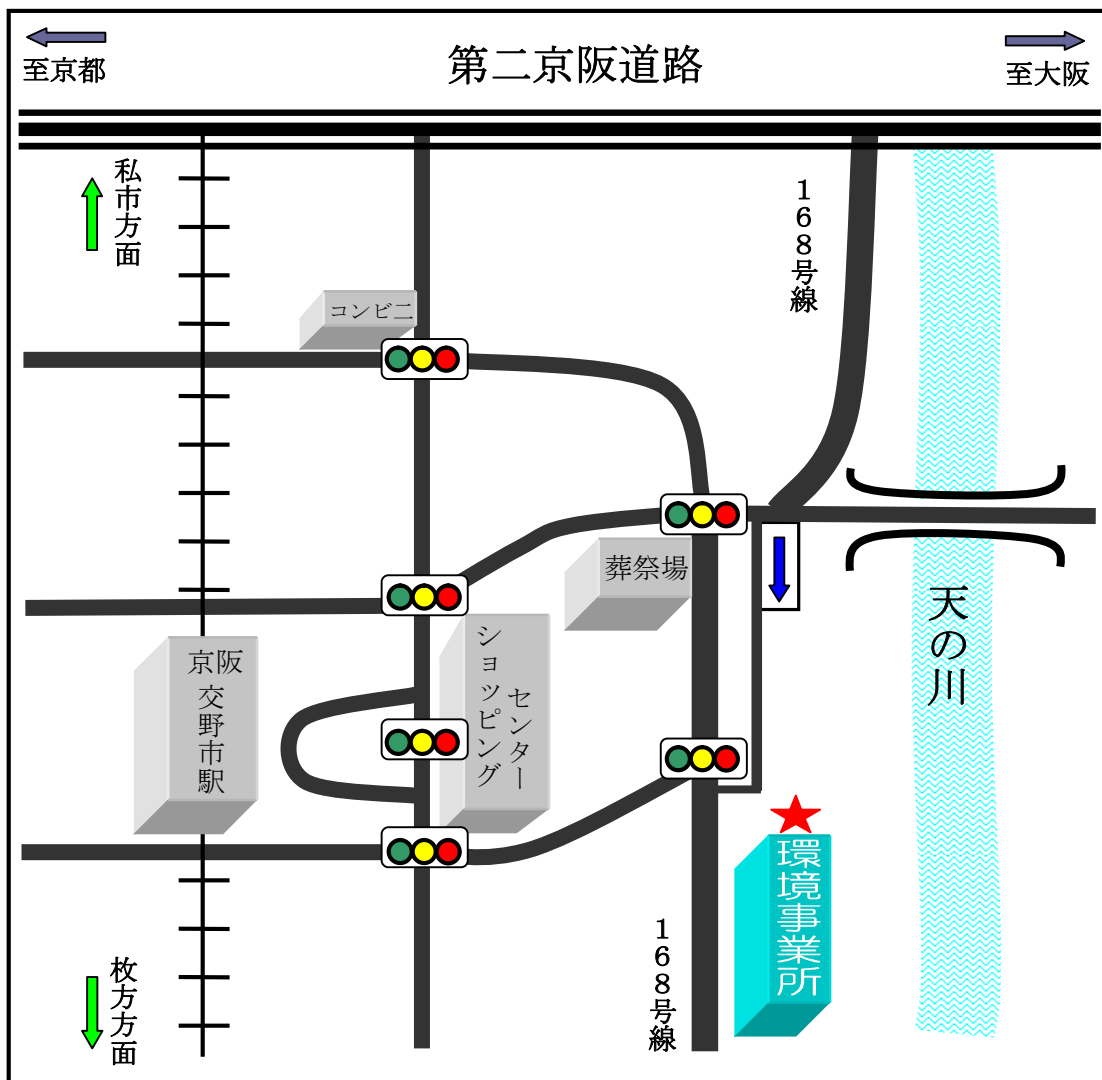
☆その他、ご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください

**長時間ご協力ありがとうございました**

◎同封いたしました返信用封筒に入れてご投函してください（切手はいりません）



◇地 図



## ごみに関するアンケート調査報告書

平成22年8月 発行

編集発行 交野市 環境部循環型社会推進室 環境事業所

〒576-0041

大阪府交野市私部西三丁目3番1号

電話 072 (892) 2471

FAX 072 (893) 1170